

カラザレハ罰スルヲ得サルナリ

第一百十二條 罪ヲ犯サントシテ己ニ其事ヲ行フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ケザル時ハ己ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

○本條ハ罪ヲ犯サントシテ己ニ着手シ若クハ既ニ行ヒ畢リタレモ犯人ノ思ヒモ寄テサル障礙又ハ舛錯トニ由リ終ニ其目的ヲ達スルヲ能ハサル場合ヲ云如斯モノハ裁判官ノ意見ヲ以テ其情狀ヲ酌量シ己ニ遂ケタル罪ノ本刑ヨリ一等若クハ二等ヲ減シテ罪ヲ科スルナリ例ヘハ婦女ヲ強姦セント欲スル時思ヒモヨラス他人ニ之ヲ阻メテ未タ其目的ヲ遂ケサルモノ是レ以外障礙ナリ又人ヲ狙撃セントシテ拳銃ヲ放ツニ彈

丸中ヲス再ヒ之ヲ發射セント欲スル内ニ其人ハ早ク遁走シ終ニ其効ヲ奏セサルモノ是レ意外舛錯ナリ

第一百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ前

條ノ例ニ照シテ處斷ス

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニアラサレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得

達警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其罪ヲ論セ

○重罪ノ刑ヲ犯サントシテ未タ遂ケザル者ハ罪ノ何タルヲ問ハス第一百十二條ノ例ニ照シ意外障礙ト舛錯トニヨリ其犯ス所ノ本刑ヨリ一等若クハ二等ヲ減シテ

處分スルハ、本罪トシテ一審法廷ニテ二審ヲ要スルコトナシ

○輕罪ハ刑ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサルモハ之ヲ罰スルコトナシ

○重罪ハ刑ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサルモハ之ヲ罰スルコトナシ

者ハ各本條中別ニ記載スル分ニ限り第百十二條ノ例ニ照シテ意外障礙ト舛錯トニヨリ犯ス所ノ本刑ニ依リテ減輕スルモノトス

○違警罪ハ極々テ輕キモノ故其罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ一切不問ニ措クモノトス

○違警罪ハ極々テ輕キモノ故其罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ一切不問ニ措クモノトス

○違警罪ハ極々テ輕キモノ故其罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ一切不問ニ措クモノトス

○第十章 名稱例

自第五十五條

○名稱トハトナヘナリ本章ハ軍人軍屬ノ區別及ヒ其稱號ノ種類等ヲ舉ケタルナリ

第五十條

軍人ト稱スルハ將官及同等官、上長官、士官、下士、卒ヲ謂フ

將校同等ノ軍人ハ總テ將校ニ同シ

○將官トハ大將、中將、少將、上長官トハ大佐、中佐、少佐、士官トハ大尉、中尉、少尉、下士トハ艦内教授役、艦内教授役介、警吏、警吏補、一等筆記、二等筆記、三等筆記、掌砲長、掌砲次長、掌砲長屬、水兵長、水兵次長、水兵長屬、指揮官、端舟長、艦長、端舟長、中端舟長、大端舟長、小端舟長、甲板長、甲板次長、甲板長屬、檣樓長、檣樓長屬、按針長、按針次長、按針長屬、信號長、信號次長、

信號長屬。帆縫長。帆縫次長。帆縫長屬。造綱長。造綱次長。造綱長屬。船艙長。木工長。木工次長。木工長屬。槓節工長。槓節工長屬。塗工長。塗工長屬。補工長。鍛冶長。鍛冶次長。鍛冶長屬。兵器工長。兵器工長屬。曹長。軍曹。伍長。鼓長。鼓次長。樂次長。樂師。樂手。樂生。病室廚宰。看病夫長。艦內廚宰。艦內廚宰介。艦內割烹。機關士補。火夫長。火夫次長。火夫長屬。等ヲ云ヒ卒トハ一等卒。二等卒。三等卒。四等卒。五等卒。種類許多アレハ省畧ス海軍省乙第十三號達海軍一等卒。等ヲ云。以下等級表ニ就テ見ルベシ。

○將校トハ大將以下少尉以上ヲ指シテ將校ト云ヒ同等ノ軍人トハ軍醫總監。大醫監。中醫監。少醫監。大軍醫。中軍醫。少軍醫。大秘書。中秘書。少秘書。大秘書。中秘書。少秘書。主計大監。主計中監。主計少監。大主計。中主計。少主計。主計副。機關大監。機關中監。機關少監。大機關士。中機關士。少機關士。技監。大匠

司。中匠司。少匠司。一等師。二等師。等全ク將校ト同等官ナレハ職名異ナル人ヲ云

第五十一條 軍屬ト稱スルハ海軍出仕ノ文官其他海軍ニ從事スル者ヲ謂フ

軍屬及ヒ海軍所屬ノ生徒ハ總テ軍人ニ同シ

○軍屬トハ海軍省出仕ノ文官。造船所。造兵所。ノ定雇職工及其他海軍ニ從事スル者等ヲ總稱スルナリ

○軍屬及ヒ海軍所屬ノ生徒トハ兵學校及海軍機關學校等ノ生徒ヲ云是等ノ者ハ渾テ軍人ニ同シキモノトス

第五十二條 司令官ト稱スルハ數隻又ハ一隻ノ艦船數所又ハ一所ノ屯營ヲ指揮スル者及ヒ分遣ノ兵隊若クハ數隻ノ端舟ヲ指揮スル者ヲ謂フ

○司令官トテ數艘又ハ一艘ノ軍艦數ヶ所又ハ一ヶ所ノ屯營ヲ統轄スル者及ヒ其他各地ニ分遣スル兵隊又ハ數艘ノ端船等ヲ指揮スル權アル人ヲ總稱スルナリ

第五十三條 上官ト稱スルハ官等ノ上ナル者ヲ謂フ同等ト雖モ命令ヲ下ス可キ權ヲ有スル者其部下ヲ於テハ上官ニ同シ卒ニシテ臨時下士ノ職ヲ奉スル者其部下ニ於ル亦之ニ準ス

○上官トハ官等ノ上ナル人ニ云ヒ又同等ノ官等ニ當ル人ニテモ甲ハ一軍艦一屯營ヲ統轄シテ命令ヲ下スヘキ權ヲ有シ乙ハ其部下ニアツテ命令ヲ下スヘキノ權ヲ有シ然ル作ハ乙ヨリ甲ヲ指シテ即チ上官ト云カ如シ又卒ニシテ臨時下士ノ職務ヲ奉スル者モ部下ニ於テハ猶ト上官

○此云如シ

第五十四條 守兵ト稱スル儀仗若クハ警戒ノ爲メ守地ニ在ル者ヲ謂フ

○守兵トハ儀仗若クハ警戒ノ爲メ守地ニ在ル者ヲ謂フ

第五十五條 親屬ト稱スルハ普通刑法第百十四條第百十五條ノ例ニ同シ

○親屬例ハ左ニ載スル普通刑法第百十四條第百十五條ヲ適用スル者トス

(通例) ○普通刑法第一編第十章親屬例

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者トス

- 一 祖父母父母夫妻
 - 二 子孫及ヒ其配偶者
 - 三 兄弟姊妹及ヒ其配偶者
 - 四 兄弟姊妹ノ子及ヒ其配偶者
 - 五 父母ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者
 - 六 父母ノ兄弟姊妹ノ子
 - 七 配偶者ノ祖父母父母
 - 八 配偶者ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者
 - 九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子
 - 十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹
- 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルモノハ以上掲クル所ヲ云

配偶者トハ男女婚姻ノ式ヲ行ヒタル夫婦ナリ

第一百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同

シ。父母ト稱スルハ繼父母、嫡母同シ。子孫ト稱スルハ庶子、曾玄、外孫同シ。兄弟姊妹ト稱スルハ異父、異母ノ兄弟姊妹同シ

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

○祖父母ト云ハ高祖父母曾祖父母又母方ノ父母迄ヲ包含シ。父母ト云ハ繼父母、嫡母、父ノ本妻ヲ妾腹ノ迄ヲ包含シ。子孫ト云ハ庶子、妾腹ノ庶孫、庶子ノ産曾孫、外孫、他ノ嫁ム子、迄ヲ包含シ。兄弟姊妹ト稱スルハ異父、異母ノ兄弟姊妹迄ヲ包含シ。養子ハ其家ノ實子ト同シキモノナリ

軍海刑法註釋

○

○第二編 重罪輕罪自第一章至第十章

彈 舜 平 註 釋

○重罪輕罪ハ此刑法中反亂、辱職、抗命、暴行、侮辱、燒燬、毀壞、擅權、違令、逃亡、詐偽等ニ係ル罪ヲ云其内重キヲ重罪トシ輕キヲ輕罪トス

○第一章 反亂自第五十六條至第七十二條

○反亂ハ軍人敵ニ荷擔シテ反逆シ國家ヲ紊亂スルヲ云

第五十六條 軍人黨ヲ結ヒ擅ニ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○軍人衆多徒黨ヲ結ヒ暴動ヲ起シ擅ニ兵器ヲ執リ反逆シ

テ政府ニ抗敵シ國家ノ安寧ヲ害スル者ハ左ノ如ク一二
三ノ區別ヲ以テ處斷スルモノトス

一 首魁教唆者及ヒ群衆ノ指揮ヲ爲シ若クハ樞要ノ職
務ニ從事シタル者ハ死刑ニ處ス其指揮ヲ爲シ樞要
ノ職務ニ從事スト雖モ情狀輕キ者ハ無期流刑ニ處
ス

○首魁トハ張本入ナリ教唆者トハ他人ヲ鼓舞煽動スル者
ナリ群衆ヲ指揮スル者トハ一軍艦或ハ一隊ノ長トナリ
テ進退ヲ號令スル者ナリ樞要ノ職務ニ從事スルトハ身
ハ帷幕ノ裏ニ在テ軍略機密ノヲニ參與シ反亂ノ目的ヲ
達スヘキ謀計ヲ爲ス者ナリ以上ノ者ハ何レモ免ス可カ
ラザル重罪ナレハ死刑ニ處ス然レモ群衆ヲ指揮シ又ハ

樞要ノ職務ヲ執リタル者ハ其所犯重シト雖モ畢竟首魁
ニ服從シテ之ヲ補翼スルニ過キス因テ其情狀ヲ酌量シ
輕キ者ハ一等ヲ減シテ無期流刑ニ處スルモノトス

二 諸般ノ職務ヲ司トリ若クハ艦船兵器彈藥其他軍需
ノ物品ヲ資給シタル者ハ有期流刑ニ處シ其情狀輕
キ者ハ重禁獄ニ處ス

○諸般ノ職務ヲ司トリトハ身ハ衆ニ加ハリ暴亂ヲ起カス
ト雖モ種々ノ雜務ヲ司トリ或ハ味方ヲ募集シ又ハ艦船
兵器彈藥器械金錢糧食石炭等ヲ其黨類ニ資給シ反亂ヲ
起スヘキノ助ヲナシタル者ヲ云如斯モノハ前項ノ刑ニ
比スレハ罪稍輕シトス因テ其犯罪ノ輕重ヲ量リ重キハ
有期流刑ニ處シ輕キハ重禁獄ニ處スルモノトス

三 附和シテ其事ニ服行シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○附和シテ其事ニ服行スルトハ教唆者ノ教唆ニ煽動セラレ一味シテ唯人數ニ加ハリタル者ヲ云是等ノ者ハ罪甚マ輕ケレハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第五十七條 軍人反亂ヲ爲スヲ謀リ艦船兵器彈藥其他軍需ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

○軍人反亂ヲ起サシメ官有民有物ニ拘ラス艦船兵器彈藥金錢米穀其他軍需ノ物品總テ戰爭ニ用フル要具等ヲ劫奪掠取スル者ハ未ダ騷亂セサル前ト雖ヒ已ニ犯蹟顯然タルヲ以テ前條ノ刑ニ同シ首魁及正犯從犯ノ區別ヲ以テ處

斷スルモノトス

第五十八條 軍人前二條ノ罪ヲ犯スニ因リ故サラニ鎮撫ノ官吏ヲ殺シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人前二條ノ如ク暴動ヲ起サントスルカ若クハ兵器彈藥金錢米穀及ヒ軍需ノ物品ヲ掠奪セント欲スルカノ場合ニ臨ミ取鎮メノ爲メ出張スル官吏ニ抗敵シテ之ヲ殺ス者ハ罪甚重ケレハ死刑ニ處スルモノトス

第五十九條 軍人敵ヲ利スル爲メ艦船兵隊港灣堡塞造船所造兵所武庫火藥庫兵器彈藥糧餉其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵ニ付シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ自己ノ支配スル所ノ艦船兵隊港灣船泊ノ砲臺堡塞造船所造兵所武庫火藥庫及兵器砲刀劍銃類

藥、糧餉、其他戰爭ニ緊用ナル土地海濱島嶼、岬等ノ類、家屋等ヲ敵方ニ交付シ、敵ニ利益ヲ與ヘ却テ官軍ノ不利ヲ謀ル者ハ其害タル甚大ナリトス因テ死刑ニ處スルナリ

○他ノ人民ト雖モ本條ノ如キ物件ヲ敵方ニ交付シ、敵ノ利益ヲ謀ル者ハ假令自分ノ所有ニ屬スルモノト雖モ此刑法第四條ノ例ニ照シ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十條 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル緊要ノ圖書ヲ敵ニ付シ若クハ土地道路ノ要害險夷ヲ指示シ又ハ暗號軍機軍情ヲ漏洩シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ軍事ニ係リ必用ナル圖面書類等ヲ隱カニ敵方ニ交付シ若クハ鎮臺城堡ノ要害、道路山谷ノ險夷、海底ノ淺深、暗礁ノ有無等ヲ指示シ若クハ暗號記號アイシロシフテリ

及軍中ノ内情、其外機密ノ討畧等ヲ泄告シ、敵ヲ策謀シ勸ツル者ハ死刑ニ處スルモ、トス不レ同、此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十一條 軍人敵ヲ利スル爲メ艦船、屯營、造船所、造兵所、兵器、彈藥、糧餉、其他軍用ニ供ス可キ物件ヲ毀壞シ又ハ火ヲ放テ之ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ艦船、屯營、兵隊、屯營、造船所、造兵所、砲臺、兵器、刀劍、銃、彈藥、糧餉、其他戰爭上必要ノ物件ヲ或ハ之ヲ毀壞シ又ハ火ヲ放ツテ之ヲ燒燬スル者ハ官軍戰鬪上ノ要路ヲ遮斷シ軍用品ノ欠耗ヲ致シ其害タルヤ甚大ナリトス因テ死刑ニ處スルモ、トス不レ同、此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十二條 軍人敵ヲ利スル爲メ兵器、彈藥、糧餉、其他軍需物品ノ缺乏ヲ致シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ兵器刀、銃、砲、類、彈藥、糧餉糧、餉、及其外戰鬪ノ用ニ供スヘキ物品ヲ屯營若クハ軍艦内ヘ搬運スヘキノ職務ヲ勤メナカラ故サテ運搬セズ軍需ノ物品ノ缺乏ヲ致サシメ敵ノ機策ヲ助ケル者ハ罪甚ク惡ムヘキノ所爲トナス仍テ死刑ニ處スルモツトス

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰ス然レモ普通刑法第三百三十二條ニ如ク陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作

爲ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其略遣ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル者ハ如キハ該法ニ正條アレハ此例ニアラズ

第六十三條 軍人敵ノ爲メ兵ヲ募リタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵方ノ爲メ兵卒ヲ嘯聚シ却テ敵軍ヲシテ勢力ヲ増長セシムルモノハ死刑ニ處スルナリ

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十四條 軍人敵ヲ利スル爲メ音信ヲ敵ニ通シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ隠カニ音信ヲ通シテ軍中ノ機密ヲ

報告シ或ハ概文ヲ送リテ攻撃ノ合圖ヲナス者ハ死刑ニ處スルガリ

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十五條 軍人敵ノ間諜ヲ誘導助成隱匿シ若クハ敵ヲ利スル爲メ俘虜降人ヲ逃走セシメ又ハ劫奪シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵方ヨリ内々探偵ニ來ル間諜者ヲ隱カニ屯營或ハ軍艦内ニ誘導シテ軍中機密ノ事ヲ漏泄シ或ハ捕縛ヲ免シシメ又ハ劫奪シテ敵方ニ還付スル如キ所爲ヲ為シ者ハ死刑ニ處スルガリ

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第六十六條 軍人黨ヲ結ビ司令官ヲ要シ敵ニ降ラシメントシタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ト交戦ノ際敵軍ノ爲メ圍ヲ受ルカ或ハ敵ニ軍艦ヲ破毀セラレ遁逃スルノ道ナク進退維谷ノ時ニ臨ミ奮戦又ハ防禦ノ勇氣ナク却テ司令官ヲシテ敵ニ降參セシメント謀リ徒黨ヲ結フ者ハ軍人ノ廉耻ヲ破ルコト甚シクシテハ死刑ニ處スルモノトス

第六十七條 軍人敵ヲ利スル爲メ艦船若クハ兵隊ノ聯絡集合ヲ妨害シ又ハ兵隊ノ潰走ヲ誘起シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ艦船及兵隊ノ聯絡集合ヲ妨クルヲ仕出シ或ハ軍中ニ於テ不意ノ妄説ヲ吐露シ兵氣ヲ沮喪シ兵卒ノ潰走ヲ誘起スルノ所爲ヲナス者ハ何レモ軍法ニ背シテ以テ死刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第六十八條 軍人敵ヲ利スル爲メ叫呼喧噪シ若クハ造言飛語ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ノ利益ヲ謀リ敵軍ノ近傍ニ於テ叫呼人ヲ驚カシ喧噪衆ヲ亂リ隱語ヲ造リ大聲ヲ發シ軍中ノ機密ヲ洩シ或ハ敵ニ内情ヲ通スルモノハ死刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第六十九條 軍人前數條ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケザル者及其豫備ヲ爲シタル者ハ本條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

○前條迄ハ反亂ノ重罪ヲ既ニ犯セシ者ヲ揭ケ本條以下ハ未遂犯ノ者ヲ罰スル法ヲ示スナリ軍人此刑法第五十六條ヨリ第六十八條迄ノ重罪ヲ犯サントシテ未タ其目的ヲ遂ケサル前ニ發覺シ若クハ豫メノ備ヲナスコト官早ク探知シテ捕獲セシ者等ハ既ニ反亂ヲ起サントシテ準備ヲナセシモノナレハ犯意ノ顯然タル敢テ不同ニ措ク可カラザル重罪ナレハ其己ニ犯セシ者ヨリハ罪稍輕シ

ト六因テ本刑ヨリ各一等ニ減輕シテ罰スルナリ 例ハ
 者ハ無期流刑ニ處シ、無期流刑ノ者ハ有期流刑
 ニ處シ、有期流刑ノ者ハ重禁獄ニ處スルノ類
 ○其陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラザル者トハ既ニ反亂ヲ起
 カントシテ徒黨ヲ聚メ唯方法ヲ合議スルノミニ未ダ
 兵器、刀、劍、銃、彈藥、金穀、其他軍需ノ物品ノ準備ニ着手セザ
 ル者ヲ云是等ノ者ハ既ニ其豫備ヲナセシ者ニ比スルハ
 其危害亦甚ク鮮シトス因テ本刑ヨリ各二等ニ減輕シテ
 罰スルモノトス 例ハ死刑ノ者ハ有期流刑ニ處シ、無
 ○他ノ人民ト雖モ前數條ノ罪ヲ犯サント欲シ豫備若クハ
 陰謀ニ止ル者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ本條ニ據テ
 處分スルモノトス 例ハ重禁獄ニ處スルノ類
第七十條 軍人前數條ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ其

豫備若クハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前三
 於テ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監
 視ニ付シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人前條ニ記載スル如ク此刑法第五十六條ヨリ第六十
 八條迄ノ重罪ヲ犯サントシテ豫備若クハ陰謀ヲ企ツル
 ト雖モ未タ其事ヲ行ハザル前ニ悔悟シ自ラ其筋ハ訴ヘ
 出テ顛末ヲ白狀スル者ハ同類ノ陰謀ヲ發露シ禍害ヲ刺
 絶スルヲ以テ其効其罪ヲ贖フニ足ルベシ因テ其主刑ヲ
 免シ六月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラサル監視ニ付シ
 將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス
 ○監視ニ付スル所以ハ其者一旦反亂ノ黨ニ與セシモノナ
 レハ真心改良スルヤ否ヲ知ラス且他日再犯センノ慮ナ
 オモハカリ

キニアテサレハ其害ヲ未然ニ防カン爲メ監視ニ付スル
 ナリ則チ監視ハ裁判確定ノ日ヨリ起算スルモノトス
 ○他ノ人民ト雖モ前數條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ其事ヲ
 行ハサル前ニ自首スル者ハ此刑法第四條ノ例ニ照ラシ
 本條ニ據テ處分スルモノトス

第七十一條 軍人情ヲ知テ前數條ニ記載シタル所ノ犯人
 集會ノ爲メ家屋ヲ貸シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕
 禁錮ニ處ス

○軍人此刑法第二編第一章反亂ノ罪ヲ犯スヘキ豫備若ク
 ハ陰謀ヲ爲スコト知リナカラ自宅ヲ謀犯人ノ集會所ニ
 貸シ與ヘテ評議ヲ爲サシムル者ハ其反謀ノ成就ヲ助ケ
 又ハ幾分カノ便利ヲ與フルモノナレハ假令犯人ニ與セ

ストモ不問ニ措ク可カラズ因テ二年ヨリ少カラス五年
 ヨリ多カテサレ輕禁錮ニ處スルモノトス

第七十二條 軍人此章ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ
 六月以上二年以下ノ監視ニ付シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人此刑法第二編第一章中反亂ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑第
 十六條第三項及ニ處スル時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨ
 第七十一條ノ類ニ處スル時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨ
 リ多カラサル監視ニ付シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ
 剝奪スルモノトス

○第二章 辱職 自第七十三條至第八十五條

○辱職トハ本任ノ職分ヲ盡サスシテ敵ニ降ルカ或ハ怠惰ニユリ職務ヲ辱カシムルヲ云

第七十三條 司令官猶ホ防守スルヲ得ヘキ時ニ於テ敵ニ降り又ハ其艦船若クハ守地ヲ敵ニ付シタル者ハ死刑ニ處ス

○司令官ハ數隻ノ艦船又ハ一所ノ屯營ヲ預リ兵卒ヲ指揮スルノ重任タリ然レハ戰爭ノ時ハ殊更衆ニ抽テ生命ヲ鴻毛ヨリ輕シシ國家ノ爲メ力ヲ盡スヘキヲ本務トス司令官猶ホ防守スルヲ得ヘキ時トハ例ヘハ敵ト交戦數回竟ニ敗北シテ一所ノ屯營ヲ保ツヲ能ハサル場合ニ至レト猶ホ殘兵ヲ集合シ奮戦防禦ヲ主トセハ防守スルヲ得

トキ時ヲ云如斯危急ノ場合ニ臨ンテ却テ敵ノ攻撃ヲ恐レテ敵ニ降参シ又ハ自己ノ支配スル艦船若クハ守地ニ至ル迄モ敵ニ交付スル者ハ朝憲ヲ破リ軍人ノ體面ヲ汚シ國賊鼠輩ト謂ハサル可カラサル大罪ナレハ死刑ニ處スルモノトス

第七十四條 司令官戰爭ノ際ニ於テ其盡ス可キ所ヲ盡サスシテ艦船若クハ兵隊ヲ率井遁走シタル者ハ死刑ニ處ス

○司令官敵ト交戦ノ時本任ノ職務ヲ盡サスシテ自己ノ支配スル艦船若クハ兵隊ヲ引率シ其場ヲ遁走スルモノハ軍人ノ體面ヲ汚シ廉耻ヲ破ルト是ヨリ甚シキハナシ因テ死刑ニ處スルモノトス

第七十五條 司令官若クハ艦船ノ乘員其艦船ヲ破亡沈没シタル者ハ死刑ニ處ス其怠慢ニ出タル時ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍艦及軍事ニ用ナル船舶ハ交戦上緊要ノ具ナリ其艦船ノ司令官若クハ他ノ乘員機關大監以下火夫以上テ艦船ニ從事スル人ヲ云等故ナク之ヲ破毀シ又ハ海底ニ沈没セシムルモノハ免スヘカラザル大罪ナレハ死刑ニ處ス然レモ一時ノ怠慢ヨリ出テ航海ノ線路ヲ誤ルカ或ハ運轉及機關ノ法ヲ失シテ破裂又ハ沈没セシムルモノハ罪大ニ輕ケレハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラザル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

第七十六條 司令官其艦船破亡沈没スル時ニ當リ故チク

衆ニ先タナテ其艦船ヲ退去シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○司令官ハ軍艦ノ進退ヲ指揮スル職務ナリ若シ艦船不慮ノ難風ニ逢遭スルカ若クハ敵ノ計策ニ墜リ水雷火又ハ砲丸等ヲ以テ打碎カレ破亡沈没セントスル時殊更衆人ニ先タナテ其艦船ヲ退去スル者ハ司令官ノ職務ヲ耻カシムルト甚シケレハ左ノ一二三ノ區別ヲ以テ處分スルモノトス

一 敵前ニ在テハ死刑ニ處ス

○敵軍前ニアル時ハ大ニ交戦ノ利害ニ關シ頗ル大切ノ場合故本條ノ罪ヲ犯ス者ハ死刑ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テハ有期流刑ニ處ス

○軍中ニ於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ第一項ヨリ稍罪輕ケレハ有期流刑ニ處スルモノトス

三 其他ノ場合ニ在テハ輕禁獄ニ處ス

○其他ノ場合トハ戰爭ノ地ニアラサル場所ヲ云如斯ノ場合ハ大体逆浪暴風ノ爲メニ破亡又ハ沈没セントスル故救護ノ方略ヲ考テアラス然ルニ司令官衆人ニ先タテ退去スル時ハ軍艦ヲ抛棄シ乗員ノ生命ヲモ顧ミズ本任ノ職務ヲ盡サ、ルヲ以テ輕禁獄ニ處スルモノトス

第七十七條 司令官若クハ艦船ノ乗員其艦船ヲ擱岸、坐礁、其他危險ニ付シ之ヲ損壞シタル者ハ重禁獄ニ處ス其怠慢ニ出タル時ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處ス

○艦船ノ司令官若クハ艦船ノ乗員機關大監以下火夫以上渾テ艦船ニ從事スル人

云テ故テ其艦船ヲ擱岸、暴風激浪ノ爲メ若クハ打上マシ、坐礁、同土ノ時海中巖石ノ上ヘ其他危險ナル場所ニ衝突シテ全部又ハ一部ヲ損壞シタル者ハ重禁獄ニ處スルモノトス然レモ一時ノ怠慢ニテ或ハ航路ヲ誤ルカ又ヤ運轉法ヲ失シ思ハス之ヲ損壞スル者ハ罪稍輕ケレハ十日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第七十八條 司令官其艦船擱岸、坐礁、其他危險ノ時ニ當リ救護ノ方略ヲ盡サスシテ之ヲ沈没シ若クハ損壞シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○艦船ヲ指揮スル司令官其艦船ノ擱岸、暴風激浪ノ爲メカニヨリ艦船ヲ海岸、坐礁、同土ノ時海中巖石ノ上ヘ及其他ニ打上ケタル時

危険ノ場所へ衝突シテ碎ケヌトスル場合ニ於テハ百方
 盡力シテ救護ノ方器ヲ盡サハル可カラズ然ルニ其方器
 ナシ盡サスシテ竟ニ艦船ヲ海底ニ沈没セシムルカ若クハ
 損壞セシ時ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラザル輕
 禁錮ニ處スルモノトス

第七十九條 司令官敵ノ船舶ヲ拿捕ス可キ時ニ於テ故ナ
 ク其事ヲ爲セハル者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處
 シ判官ヲ附加ス

敵前ニ在テ我艦船ヲ救援ス可キ時故ナク其事ヲ爲サ
 ル者亦同シ
 ○司令官戰爭ノ際敵ノ船舶ヲ拿捕シテ要路ヲ遮斷スヘキ
 時 敵船ヲ沈没スル其事項ハ行ハザル者ハ一月ヨリ少カラス

二年ヨリ多カラザル輕禁錮ノ刑ニ處シ將校ハ判官ヲ附
 加シテ官職ヲ剝奪ス

○敵軍前ニ在ル時味方ノ船舶ノ敵ノ爲メ損壞セラレハカ
 又ハ怒濤逆浪ニ沮メラレ沈没セントスル時ハ百方盡力
 之レヲ救援セサル可カラザルニ故ナク其事ヲ怠リ徒ラ
 ニ傍觀スル者モ亦前項ト同様ノ刑ニ處スルモノトス

第八十條 司令官若クハ當直士官怠慢ニ因リ敵ヲシテ其
 艦船ニ乗入ラシメタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁
 錮ニ處ス

○艦船ノ指令官若クハ當直士官 軍艦中ニ晝夜交代シテ看
 一時ノ怠慢ヨリ出テ敵ノ間諜者及ヒ敵兵ヲシテ艦船内
 ニ乗入ラシメタル者ハ如何ナル危險ノコトヲ生ゼシヤモ

量ル可カラサレハ十一日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラ
サル輕禁錮ニ處スルモノトス

第八十一條 司令官船舶ヲ護衛スルノ命ヲ受ケ其船舶ヲ
委棄シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○艦船ノ司令官自分ノ支配スル船舶ヲ護衛スルノ命令ヲ
受ナカラ故ナク之ヲ看護セスシテ委棄スル者ハ左ノ一
二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ死刑ニ處ス

○敵軍前ニアル時ハ戰爭ノ勝敗如何ニ關シ頗ル大切ノ場
合ナル故本條ノ罪ヲ犯ス者ハ死刑ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テハ重禁獄ニ處ス

○軍中ニアツテ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ第一項トハ罪稍輕ク

レハ重禁獄ニ處スルモノトス

三 其他ノ場合ニ在テハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ
處ス

○其他ノ場合トハ第一項第二項ノ外ノ場所ヲ云此場合ニ
於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多
カラザル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

第八十二條 前條ノ所爲其怠慢ニ出タル者ハ左ノ區別ニ
從テ處斷ス

○本條ハ前條ヨリ罪稍輕トス艦船ノ司令官一時ノ怠慢ニ
ヨツテ設備スル船舶ヲ委棄スル時ハ左ノ一二三ノ區別
ニ從テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ一年以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○敵軍前ニアル時怠惰ニヨツテ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ一年
ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノ
トス

二 軍中ニ在テハ三月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍中ニ在テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ三月ヨリ少カラス一年
ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

三 其他ノ場合ニ在テハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮

ニ處ス

○其他ノ場合トハ第一項第二項ノ外ノ場所ヲ云此場合ニ
於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ十一日ヨリ少カラス二月ヨリ
多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第八十三條 將校其部下ノ兵徒黨犯罪ノ事アルニ當リ鎮

定ノ方ヲ盡サシ者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處
シ剝官ヲ附加ス

○凡將校タル人ハ軍人上等ノ位置ニ居リ數萬ノ兵隊ヲ統
轄シ謀策ヲ帷幕ヲ裏ニ施シ内外戰爭ノ事ヲ從事ス

以テ亂ヲ鎮定シ國家ヲ補翼スルノ重任ヲリ

將校其部下ノ兵徒黨犯罪ノ事ニ當リトハ部下ノ兵卒共
多人數徒黨ヲ結ビ反亂

ノ罪ヲ犯サントスルノ舉動アルニ方ツテ鎮撫ノ方略ヲ

務ヲ盡サス將校ノ體面ヲ汚スニ因リ三月ヨリ少カラス

三年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ剝官ヲ附加シテ官職

○本條ノ場合ニ於テ責ヲ將校ニ任スルハ部下ノ兵ハ官ノ預リ物ナリ將校ハ則チ之レヲ管守人ナリ管守人其預リ物ノ傷キ損スルヲ至願ミテ鎮定ノ方畧ヲ爲サハル時ハ例ヘハ預リ物ヲ毀損シテ原主ニ還スカ如シ是レ將校ニ罪ヲ歸セサル可カラザル所以ナリ

第八十四條 軍人職務ニ因リ與リ知ル所ノ軍機若クハ軍事ニ關スル秘密ノ圖書ヲ漏洩シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍機密策ハ假令同僚ノ人ニ對シテモ漫ニ口外ス可カラザルモノトス然ルニ軍人職務上ニ因テ與リ知ル所ノ軍機軍略又ハ軍事ニ關スル秘密ノ圖書ヲ他人ニ漏告又ハ聞見セシムル者ハ三月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラザル

ル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス
 第八十五條 司令官内外國ノ船舶擱岸坐礁其他危險ノ時救援ノ請求ヲ受ケ故ナク之ヲ肯セサル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處ス

○難破船救助法ハ内外國共信誼ヲ以テ互ニ救援セサル可カラサル義務ヲリ艦船ノ指令官内外國ノ船舶ニ拘ラヌ怒濤逆浪ノ爲メ擱岸力ニ暴風激浪ノ爲メカ若クハ運轉ノ速坐礁同上ノ時海中礁石ノ上ニ艦船ヲ海岸ヘ打上タル時艦船ヲ乘リ居エタル時ニ觸レテ破壊又ハ沈没セシトスルカ其他危險ノ場合ニ臨ミ信號等ヲ以テ救援ノ請求ヲ爲スト雖トモ救助ノ方略ヲモ盡サス故ナク請求ニ應セサル者ハ他人ノ生命ヲ顧ミス大ニ信誼ヲ失ヘルモノトス因テ十一日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラザル

輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

○第三章 抗命

自第八十六條至第八十七條

○本章ハ大總督、上官、司令官、等軍事ニ關シ指揮スル權アル人ノ命令ヲ抗ミ背セサルヲ云

第八十六條 軍人命令ヲ下ス可キ權アル者ノ命令ニ抗シタル者若クハ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 軍人命令ヲ下ス可キ權アル者ノ命令ニ抗シトハ大總督將校及數隻又ハ一隻ノ艦船數所又ハ一所ノ屯營等ヲ統轄スル司令官ヲ云是等ノ人ハ何レモ命令ヲ下スヘキ權ヲ有スレハ其部下ノ者ニ對シテ指揮スル時若シ其命令ニ背シカ又ハ服從セザル者アル時ハ左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ死刑ニ處ス

○敵軍前ニアル時ハ戦争ノ勝敗如何ニ關シ頗ル大切ノ場
合ナル故本條ノ如ク命令ヲ拒ミ服從セサル者アル時ハ
大ニ軍法ヲ亂ルヲ以テ死刑ニ處スルモノトス

二 軍中又ハ擱岸坐礁其他艦船救護ノ爲メ緊要ノ方略
ヲ爲ス時ニ在テハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處

シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍營中又ハ艦船ヲ擱岸暴風激浪ノ爲メカ若クハ運轉ノ
速力ニヨリ艦船ヲ海岸ヘ打上ケ
タル坐礁同上ノ時海中巖石ノ上ヘニ衝突セントスルカ
其他艦船救護ノ方略ヲ爲ス可キ時司令官ノ號令ヲ拒ミ
之レヲ肯セサル者ハ二年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラ
ザル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス
三 其他ノ場合ニ在テハ二年以上二年以下ノ輕禁錮ニ

處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○其他ノ場合トハ第一項第二項ノ外ノ場所ヲ云此場合ニ於
テ上官及司令官ノ命令ヲ拒ミ肯セザル者ハ他ノ軍人
ノ正心ヲ紊亂スル故二月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラ
サル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

第八十七條 軍人二人以上相黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタ
ル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○本條ハ此刑法第四十七條數人共ニヨリ處分スヘキ者ニ
犯例ニヨリ處分スヘキ者ニ
シテ軍人二人以上牒シ合セ第八十六條ノ如ク命令ヲ下
スベキ權アル人ノ命令ニ抗シ之レニ服從セザルモノハ
左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス
一 敵前ニアル時ハ死刑ニ處ス

○敵軍前ニアル時ハ戦争ノ勝敗如何ニ關シ至極大切ノ場合ナル故本條ノ罪ヲ犯ス者ハ正犯從犯ニ拘ラス何レモ死刑ニ處スルモノトス

二 軍中又ハ欄岸坐礁其他艦船救護ノ爲メ緊要ノ方略ヲ爲ス時ニ在テハ首魁ハ重禁獄ニ處ス其他ノ者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍營中又ハ艦船ノ欄岸暴風激浪若シハ運轉ノ速力ニヨリ坐礁同上ノ時海中巖石ノ上ヘ其他難船救護ノ方畧ヲ盡スヘキ時軍人二人以上申合セ司令官ノ號令ヲ拒ミ之レニ服從セサル者ハ數人共犯例ヲ以テ處斷シ其首魁ハ重禁獄ニ處シ其他ノ犯人首魁ニアラハ二年ヨリ少カラス

五年ヨリ多カラザル輕禁錮ニ處シ將校ハ正犯從犯ニ拘ラス剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テハ首魁ハ輕禁獄ニ處ス其他ノ者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニ於テ軍人二人以上牒シ合ヒ上官及司令官ノ命令ヲ拒ミ之レニ服從セサル者ハ數人共犯例ニ照シテ處斷シ首魁ハ輕禁獄ニ處シ其他ノ犯人首魁ニアラハ二月ヨリ少ナカラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ正犯從犯ニ拘ラス剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス但從犯ノ者ハ此刑法第四十七條ノ例ニ照ラシ首魁ニアラサル正犯人ノ受クヘキ刑ヨリ一等

ヲ減輕スルモノトス

○第四章 暴行自第九十八條至第九十九條

○暴行トハ亂暴亂暴毆劫毆劫奪殺傷等奪殺傷等ニシテ軍法ヲ犯シ亂雜ノ所爲ヲナス者ヲ云

第八十八條 軍人上官ニ對シ暴行ヲ爲シタル者ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人上官官等ノ上ナル人ニ對シテ亂暴ノ所爲ヲナス者ハ一年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

第八十九條 軍人二人以上相黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者首魁ハ重禁獄ニ處ス其他ノ者ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○本條ハ數人共犯例ニ照シ處分スヘキモノニシテ軍人ニ

人以上徒黨ヲ結ヒ前條ノ如ク上官ニ對シ亂暴ノ所爲ヲ
 ナス者ハ其首魁ハ重禁獄ニ處シ其他ノ犯人首魁ニアラハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ
 將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス但從犯ノ者ハ此刑
 法第四十七條ニ照ラシ首魁ニアラサル正犯人ノ受クヘ
 キ刑ヨリ一等ヲ減スルモノトス

第九十條 軍人上官ノ公務ヲ行フニ當リ前二條ノ罪ヲ犯
 シタル者ハ各一等ヲ加フ

○軍人上官官等ノ上ノ公務ヲ行フニ當リトハ司令官及隊
 長等公ケノ事務ヲ行フ時ヲ云凡公務ヲ行フ者ハ其官ノ
 尊卑ト職務ノ輕重トヲ問ハス所謂大政府ノ部理代人ニ
 等シク其管掌スル所ノ事務ハ則テ大政府ノ公務ナレハ

第八十八條第八十九條ノ如キ暴亂ヲ行ヒ公務ノ障害ヲ
 爲ス者ハ朝憲ヲ紊亂スルヲ以テ其罪輕キニアラス因テ
 本刑ヨリ各一等ヲ加重シテ處斷スルモノトス例ハ重
 ハ有期流刑ニ處シ一年以上五年以下ノ輕禁錮ノ者禁獄ノ者
 ハ一年三月以上六年三月以下ノ輕禁錮ニ處スル類但從犯
 ノ者ハ此刑法第四十七條ニ照ラシ首魁ニアラサル正犯
 人ノ受クヘキ刑ヨリ一等ヲ減輕スルモノトス

第九十一條 軍人上官ニ對シ兵器若クハ兇器ヲ用ヒ暴行
 ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

戰場ニ於テ上官ノ公務ヲ行フニ當リ暴行ヲ爲シタル者
 亦同シ

○軍人上官官等ノ上ニ對シ兵器刀劍銃兇器軍事ニ用ヒ等
 ナ以テ暴行脅迫ノ所爲ヲナス者ハ上官ヲ蔑視スル罪輕

キニアラス因テ死刑ニ處スルモノトス
○内外國ト交戦ノ際上官ノ軍事ニ關スル職務ヲ行フ時前
項ノ罪ヲ犯ス者モ亦同様ノ刑ニ處スルノモトス

第九十二條 軍人守兵ニ對シ暴行ヲ爲シタル者ハ四月以
上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス
其兵器若クハ兇器ヲ用ヒタル者ハ有期流刑ニ處ス

○前條迄ハ上官ニ對シ暴行ヲナス者ノ處刑ヲ舉ケ本條ハ
守兵ニ對シ暴行ヲ爲ス者ノ罰法ヲ示スナリ凡守兵ハ陸
軍ノ哨兵ニ同シシ海軍省所屬内ノ軍艦、屯營、造船所、造兵
所、等ノ守地ニ備フル番兵及其他儀仗警戒ノ爲メ備フル
兵隊ヲ云軍人此守兵ニ對シ亂暴ヲ爲ス者ハ四月ヨリ少
カラス四年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ

附加シテ官職ヲ剝奪ス

○前條ノ如ク守兵ニ對シ亂暴ヲ爲ス者若シ兵器刀、劍、銃、及
砲ノ類及
兇器軍事ニ用ヒ
サル刃物類等ヲ以テ脅迫スル者ハ罪甚重ケレハ有
期流刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例
ニ照シ軍律ヲテ以テ罰セラルベシ

第九十三條 軍人二人以上相黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタ
ル者首魁ハ重禁獄ニ處ス其他ノ者ハ四月以上四年以下
ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス
其兵器若クハ兇器ヲ用ヒタル者首魁ハ死刑ニ處シ其他
ノ者ハ有期流刑ニ處ス
首魁自ラ兵器若クハ兇器ヲ用ヒスト雖モ指示シテ之ヲ

用ヒシメタル時ハ死刑ニ處ス

○本條ハ數人共犯例ニ照ラシ處斷スベキモノニシテ軍人
 二人以上申合セ前條ノ如ク守兵ニ對シ暴行脅迫ノ罪ヲ
 犯ス者ハ首魁ハ重禁獄ニ處シ其他ノ犯人ハ首魁ニアラハ
 四月ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將
 校ハ正犯從犯ニ拘ラス剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス但
 從犯ノ者ハ此刑法第四十七條ニ照ラシ正犯人ノ受クベ
 キ刑ヨリ一等ヲ減輕スルモノトス

○前項ノ場合ニ於テ若シ兵器 砲 刀 銃 及 兇器 軍事ニ用ヒ等
 ナ以テ守兵ニ對シ暴行脅迫ノ罪ヲ犯ス者ハ罪甚重ケレ
 ハ首魁ハ死刑ニ處シ其他ノ犯人ハ首魁ニアラハ有期流刑
 ニ處スルモノトス

○前項ノ場合ニ於テ首魁ハ自ラ兵器若クハ兇器ヲ携ヘ暴

行脅迫ヲ爲サスト雖他ノ正犯人ニ指揮シテ之ヲ用ヒ

サスル者ハ前項ニ同シク死刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例
 ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第九十四條 軍人戰場ニ於テ同等若クハ下等ノ者ノ公務

ヲ行フニ當リ暴行ヲ爲シタル者ハ三月以上四年以下ノ
 輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

其兵器若クハ兇器ヲ用ヒタル者ハ重禁獄ニ處ス

○内外國ト交戦ノ際戰場ニ在テ軍人同等官若クハ下等官
 ノ軍事ニ關スル職務ヲ行フニ當リ暴行脅迫シテ軍務ノ
 障害ヲ爲ス者ハ三月ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル
 輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

○前項ノ場合ニ於テ兵器若クハ兇器ヲ用ヒテ暴行脅迫スル者ハ罪稍重ケレハ重禁獄ニ處スルモノトス

第九十五條 軍人二人以上相黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者首魁ハ輕禁獄ニ處ス其他ノ者ハ三月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

其兵器若クハ兇器ヲ用ヒタル者首魁ハ有期流刑ニ處シ其他ノ者ハ重禁獄ニ處ス

首魁自ラ兵器若クハ兇器ヲ用ヒスト雖モ指示シテ之ヲ用ヒシメタル時ハ有期流刑ニ處ス

○本條ハ數人共犯例ニヨリ處斷スヘキモノニシテ軍人二人以上徒黨ヲ結ヒ前條ノ如ク暴行脅迫ノ罪ヲ犯ス時ハ首魁ハ輕禁獄ニ處シ其他ノ犯人カシラ首魁ニアラハ三月ヨリ

少カラス四年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ正犯從犯ニ拘ラス剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス但從犯ハ此刑法第四十七條ニ照シ首魁ニアラサル正犯人ノ受クヘキ刑ヨリ一等ヲ減輕スルモノトス

○前項ノ場合ニ於テ若シ兵器及兇器ヲ以テ同等官以下ノ者ニ對シ暴行脅迫ノ罪ヲ犯ス時ハ首魁ハ有期流刑ニ處シ之レニ附從スル者ハ重禁獄ニ處スルモノトス

○前項ノ場合ニ於テ首魁ハ自カラ兵器又ハ兇器ヲ携ヘ亂暴セスト雖モ他ノ正犯人ニ指揮シテ之ヲ用ヒサスル者ハ前項ト同シク有期流刑ニ處スルモノトス

第九十六條 軍人多衆相集リ暴行ヲ爲シタル者首魁ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ其他ノ者ハ一月以上一

年以下ノ重禁錮ニ處ス

○本條モ亦數人共犯例ニ照ラシ處斷スヘキモノニシテ軍人衆多相集リトハ多人數徒黨ヲ結ンテ相聚ルヲ云ヒ暴行トハ亂暴狼籍シテ立騒クヲ云則チ如斯所爲チナス者ハ首魁ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル重禁錮ニ處シ其他ノ犯人ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル重禁錮ニ處ス但從犯ハ此刑法第四十七條ニ照ラシ首魁ニアラサル正犯人ノ受クヘキ刑ヨリ一等ヲ減輕スルモノトス

第九十七條 軍人多衆結合シテ相闘毆シタル者首魁ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ其他ノ者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人前條ノ如ク多人數相聚リ徒黨ヲ結ヒ喧嘩口論ノ上互ニ相闘毆スル者ハ其首魁重立タハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ其他ノ犯人ハ首魁ニアラハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ正犯從犯ニ拘ラス剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス但從犯ハ此刑法第四十七條ニ照ラシ首魁ニアラサル正犯人ノ受クヘキ刑ヨリ一等ヲ減輕スルモノトス

第九十八條 軍人俘虜降人ヲ劫奪シ若クハ暴行脅迫ヲ以テ其逃走ヲ助ケタル者ハ重禁獄ニ處ス

○軍人亂暴狼籍ノ上捕獲シタル俘虜降參人ヲ劫奪スルカ若クハ逃走スルノ助勢ヲ爲シタル者ハ其罪輕キニアラス因テ重禁獄ノ刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第九十九條 軍人戰場ニ於テ創傷人ノ衣服財物ヲ褫奪シタル者ハ重懲役ニ處シ因テ殺傷シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人亂暴ヲ行ヒ戰場ニ於テ擾亂ノ時ヲ機會トシ切捕分捕等ノ慣習ニ倣ヒ負傷人ノ衣服財物ノ金銀ヲ奪ヒ盜犯ヲ爲ス者ハ強盜ニ等シシ軍人ノ體面ヲ汚スニヨリ重懲役ニ處ス尤其衣服財物ヲ奪ハシ爲メ故ラニ人ヲ殺シ若シハ人ニ傷ツクル者ハ之ヲ死刑ニ處スルモノトス
○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照シ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

○第五章 侮辱 自第百條至第百三條

○侮辱トハ罵詈、侮慢、又ハ圖畫、文書、等ヲ以テ他人ヲ誹謗シ侮リ辱カシムルヲ云

第百條 軍人上官ヲ罵詈若クハ侮慢シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

上官ノ公務ヲ行フニ當リ罵詈若クハ侮慢シタル時ハ一等ヲ加フ

○軍人上官官等ノ上ニ對シ暴言ヲ吐露シテ之ヲ罵詈スルカ又ハ上官ノ命令ヲ拒ミ侮リ辱カシムル者ハ二月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

○若シ上官公ケノ事務ヲ行フニ當リ本條ノ如キ所爲ヲナ

ス者ハ本刑ヨリ一等ヲ加ヘ二月十五日ヨリ少カラズ二年六ヶ月ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

第一百一條 軍人文書圖畫ヲ流布シ若クハ多衆ヲ會シ演說

ヲ爲シテ上官ヲ誹毀シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕

禁錮ニ處ス

○軍人上官官等ノ上ヲ誹謗スル爲メ文書著書、新聞紙、雜誌、雜報、張紙、手簡、回狀、等圖畫其形容ヲ畫キ又ハ奇妙ナル形ヲ類ノ類圖書作リ暗ニ其意ヲ知ラシムルノ類等ヲ流布シテ之ヲ告示スルカ又ハ公衆ヲ集メ演說集會條例ヲ以テ軍又ハ社會ニ入テ爲シテ上官ヲ誹毀誹謗シテ名譽ヲ損害社スルヲ禁ズテ爲シテ上官ヲ誹毀誹謗シテ名譽ヲ損害スル者ハ二月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ所爲ヲナス者ハ此刑法第三條ノ

例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第一百二條 軍人守兵ヲ罵詈若クハ侮慢シタル者ハ一月以

上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍人守兵ニ對シ暴言ヲ吐露シテ之ヲ罵詈スルカ若ク

ハ侮リ辱カシムル者ハ一月ヨリ少カラズ一年ヨリ多カ

ラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ所爲ヲナス者ハ此刑法第三條ノ

例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第一百三條 軍人戰場ニ於テ同等若クハ下等ノ者ノ公務ヲ

行フニ當リ罵詈若クハ侮慢シタル者ハ十一日以上一年

以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍人同等官自分ト同シ若クハ下等官自分ヨリノ軍事ニ

關スル職務ヲ行フニ當リ其人ニ對シ暴言ヲ吐露シテ之
ノヲ罵詈訾スルカ若シハ侮リ辱シメ軍務ノ障害ヲ爲スモ
ノハ十一日ヨリ少カラズ一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ
刑ニ處スルモノトス

○第六章 燒燬毀壞 自第四百九條

○燒燬トハ火ヲ放ツテ燒クヲ云ヒ毀壞トハ破リ崩
スヲ云

第四百九條 軍人火ヲ放テ艦船屯營造船所造兵所武庫火藥
庫其他戰鬪ノ用ニ供スル屋舎若クハ軍用ニ供スル物品
ヲ貯藏シタル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人亂暴シテ艦船屯營造船所造兵所武庫火藥庫及兵器
刀劍銃類彈藥金錢米穀等ヲ貯ヘタル倉庫其他軍需ノ物品
ニ火ヲ放ツテ燒燬スル者ハ罪甚タ重ケルハ死刑ニ處ス
ルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ如キ所爲ヲナス者ハ此刑法第三
條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第二百五條 軍人火ヲ放テ露積シタル兵器、彈藥、機械、船具、糧
餉其他軍用ノ物品ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處
斷ス

○軍人亂暴シテ陣營若クハ守衛ノ地ニ露積シタル兵器、刀
銃砲、彈藥、機械、各種ノ器械、船具、網、纜、帆、纜、糧、餉、肉、炊、飯、酒、其
他軍用ノ物品等ノ類、幕、幟、等ニ火ヲ放ツテ燒燬スル者ハ左ノ
一二ノ區別ニヨツテ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前若クハ軍中ニ在テハ死刑ニ處ス

○内外國ト交戦ノ際敵軍前ニアルカ又ハ軍中ニ於テ本條
ノ如キ所爲ヲナス者ハ軍用品ノ欠耗ヲ致スノミナラス
戰鬪上ノ大害トナル故則チ死刑ニ處スルモノトス

二 其他ノ場合ニ在テハ重懲役ニ處ス

○其他第一項ノ外ノ場合ニ於テ本條ノ如キ所爲ヲナス者
ハ唯軍用品ヲ燒燬スルニ止マリ別ニ戰鬪上ノ大害トナ
ラサ、レハ罪稍々輕シトス因テ重懲役ニ處スルモノト
ス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ所爲ヲナス者ハ此刑法第三條ノ
例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第百六條 軍人火藥其他激發ス可キ物品又ハ蒸氣罐ヲ破
裂セシメテ前二條ニ記載シタル物件ヲ毀壞シタル者ハ
前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

○軍人火藥及激發ス可キ火又ハ暴發ス可キ物品又ハ蒸氣罐等
ヲ破裂セシメテ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス
營、造船所、造兵所、武庫、火藥庫、其他戰鬪ノ用ニ供スル兵器

彈藥機械、船具、糧餉、等ヲ毀壞シタルモノハ各前二條ノ例

ニ照ラシテ處斷スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例

ニ照ラシテ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第七條 軍人艦船、屯營、造船所、造兵所、武庫、火藥庫、其他戰

圖ノ用ニ供スル屋舎若クハ軍用ニ供スル物品ヲ貯藏シ

タル倉庫ヲ毀壞シタル者ハ重懲役ニ處ス

○軍人故ナシ艦船、屯營、造船所、造兵所、武庫、火藥庫、及兵器、

銃砲、米穀等ヲ貯ヘタル倉庫、其他軍需ノ物品ヲ毀壞スル

者ハ第四百四條ノ放火ノ罪ヨリ稍輕ケレハ重懲役ニ處ス

ルモノトス

○燒燬毀壞ハ何レモ罪重シト雖モ燒燬ノ害タルヤ最モ大

ヤクコホチヤナル

ニシテ罪モ亦重シトス何ントナレハ火ヲ放ツテ燒燬ス

ルヤ悉皆灰燼ニ歸シ一トシテ剩スコトナキノミナラス餘

焰他ノ陣營、城堡等ニ移リ終ニ數家ヲ延燒スルニ至ル又

毀壞ノ害タルヤ家屋物品ノ幾分ヲ損スレモ全體ヲ失フ

コトナシ是レ燒燬ト毀壞トノ害大ヒニ等差アル所以ナリ

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例

ニ照ラシテ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第八條 軍人兵器、彈藥、機械、船具、糧餉、其他軍用ノ物品ヲ

棄毀シタル者ハ一月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

○軍人故ナシ兵器、刀、銃、彈藥、機械、各種ノ器械、船具、

綱、繩、糧、餉、炊、飯、酒、其他軍用ノ物品、旗、幕、帳、等ヲ取棄ルカ若

クハ毀損シタル者ハ一月ヨリ少カラス四年ヨリ多カラ

サル重禁錮ノ刑ニ處スルモノトス
○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第百九條 軍人官給ノ物品ヲ棄毀シタル者ハ十一日以上

一年以下ノ重禁錮ニ處ス

○軍人官ヨリ支給ヲ受ケタル物品 軍服、帽、靴、刀、銃、手帖、等ノ類ヲ或ハ棄テ或ハ毀損スル者ハ官給物ヲ疎略ニスルヲ以テ十一日ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル重禁錮ノ刑ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

○第七章 擅權 自第百十條 至第百十一條

○擅權トハ官權ヲ擅ニスルノ意ニシテ職務上權限外ノヲ侵シ軍法ニ乖戾スルヲ云

第百十條 司令官講和ノ告示若クハ停戰ノ命令ヲ受ケタ

ル後仍ホ戰鬪ノ所爲ヲ止メサル者ハ死刑ニ處ス

○本條ハ内外國ト交戰ノ時上官ヨリ司令官ニ對シ兩軍和睦ノ契約ヲ結ビタル旨ヲ告示スルカ若クハ戰ヲ停メテ軍勢ヲ引揚シヘキ旨ノ命令ヲ受ケナカラ其命令ニ從ハス自己ノ權力ヲ以テ部下ノ兵隊ヲ引率シテ仍ホ戰ヲ止メザル者ヲ云如斯所爲ヲナスニ於テハ大ニ彼我ノ定約ヲ破リ信誼ヲ失ヒ折角敵軍ヨリ和ヲ乞ヒ歸順セシモ忽チ和議破レ再ヒ戰端ヲ開ク哉否モ量ル可カラス且ツ戰

ヲ停ム可キ時ニ止メサレハ敵ノ謀略ニ懸リ奇策ニ墜リ
 終ニ數千ノ官兵ヲ殲ニセラル、ノ危難ナキヲ保セス是
 レ軍法ヲ蔑如シ自己ノ權力ヲ擅ニスルヲ以テ死刑ニ處
 スルナリ

第百十一條 司令官命令ニ背キ若クハ權外ノ事ニ於テ己
 ムヲ得サルノ理由ナク擅ニ艦船若クハ兵隊ヲ進退シ
 タル者ハ死刑ニ處ス

○本條モ亦上長官ノ命令ニ背キ自己ノ權力ヲ擅ニスルヲ
 云其權外ノ事ニ於テ己ムヲ得サル理由ハ例ハ上官ノ命
 進メントスルニ敵ハ要害險阻ノ地ニ據リ死力ヲ盡シテ
 防禦スル爲メ却テ退ケラレ又軍艦ヲ他方へ廻航スルキ
 ノ命令ヲ受クルト雖モ暴風激浪ニアル時ハ格別其理由
 遮ラレテ回航スルヲ得サルノ類ナリ
 モナクシテ上官ノ命令ニ背キ擅ニ艦船若クハ兵隊ヲ進

退スルモノハ是亦軍法ヲ蔑如シ自己ノ權力ヲ擅ニスル
 ナリテ死刑ニ處スルモノトス

○第八章 違令 自第百廿二條至第百卅二條

○違令トハ官ニ於テ定ムル所ノ規則ニ背クカ若クハ擅ニ守地ヲ離ル、カ若クハ召集ノ期ニ後ル、カ如ク渾テ其規則ニ違フヲ云

第百十二條 司令官艦船若クハ兵隊ヲ率非故ナク其守地若クハ配置セラレタル地ヲ離去シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 司令官自己ノ支配スル所ノ艦船若クハ兵隊ヲ引率シ事故ナクシテ守備ノ地及配置セラレタル要地ヲ離ル、者ハ左ノ一二三ノ區別ヲ以テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス
- 一 敵前ニ在テハ死刑ニ處ス
- 敵軍前ニアル時擅ニ守備ノ地ヲ離去スル時ハ敵ニ要地

ヲ占有セラレ交戦上大ヒニ大害ヲ醸スヲ以テ死刑ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テハ一年以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ剝官ヲ附加ス

○軍營中ニ在テ前項ノ如キ所爲ヲナス者ハ罪稍輕シトス因テ一年ヨリ少カラス三年ヨリ多カラザル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ剝官ヲ附加ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニ於テ守地若クハ配置セラレタル地ヲ擅ニ離去シタル者ハ二月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラザル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ

官職ヲ剝奪ス

第百十三條 將校艦船ノ直ニ在テ其直ヲ離レ若クハ守兵守所ヲ離レ其他軍人緊要ノ職務ニ服シ擅ニ其職務ヲ離レタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 將校艦船ノ直ニ在テトハ當直宿直ニ當ル將校ノ擅ニ艦船ヲ離去スルヲ云ヒ守兵守所ヲ離レトハ番兵守衛ノ地ヲ擅ニ離去スルヲ云ヒ軍人緊要ノ職務ヲ離レトハ上官ヨリ大切ナル職務ヲ申付ラレ其職務ヲ奉セシテ擅ニ職役ヲ離去スルヲ云右等ノ者ハ何レモ軍令ニ違フヲ以テ左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス
- 一 敵前ニ在テハ死刑ニ處ス
- 敵軍前ニアル時ハ其罪最モ重ケレハ死刑ニ處スルモノ

トス

二 軍中又ハ擱岸坐礁其他艦船救護ノ爲メ緊要ノ方略ヲ爲ス時ニ在テハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍營中若クハ擱岸暴風激浪若クハ運轉ノ速力ニヨ坐礁同上ニヨツテ海中巖石ノ上其他難船救護ノ爲メ種々ノ方略ヲ盡スベキ時ニ臨ンテ本條ノ如ク其場ヲ離去スルモノハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニテ本條ノ如ク其場ヲ離

去スル者ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル輕禁
錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

第百十四條 將校艦船ノ直ニ在テ睡眠若クハ酩酊シテ事
ヲ省セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○將校艦船内ノ當直又ハ宿直ニ當ル時怠惰ノ心ヨリ睡眠
スルカ若クハ密カニ酒ヲ飲ンテ酩酊シ本任ノ職務ヲ忘
レ何事ヲモ省ミサル者ハ左ノ一二ノ區別ニ據テ罪ノ輕
重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○敵軍前ニアル時本條ノ罪ヲ犯ス者ハ二年ヨリ少カラス
五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

二 軍中又ハ航海中ニ在テハ一月以上一年以下ノ輕禁

錮ニ處ス

○軍營中又ハ艦船ニ搭シテ航海スル時本條ノ罪ヲ犯ス者
ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ
處スルモノトス

第百十五條 守兵守所ニ在テ睡眠若クハ酩酊シテ事ヲ省

セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○守兵守衛ノ地ニ於テ警備中怠惰ノ心ヨリ睡眠スルカ若
クハ密カニ酒ヲ飲ンテ酩酊シ何事ヲモ省ミサルモノハ
左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス
一 敵前ニ在テハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス
○敵軍前ニアル時本條ノ罪ヲ犯ス者ハ二年ヨリ少カラス
五年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍營中ニ於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

三 其他ノ場合ニ在テハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮

ニ處ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニ於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ十一日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラザル輕禁錮ニ處スルモノトス

第百十六條 軍人艦船ノ擱岸坐礁其他危險ノ時ニ當リ司令官ノ命ヲ待タス其艦船ヲ退去シ又ハ其命ニ依リ艦船ヲ退去シタル後集合ノ場所ニ來ラス若クハ擅ニ其場所ヲ離去シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ將

校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人艦船ノ擱岸暴風激浪ノ爲メカ若クハ運轉ノ速坐礁力ニヨリ艦船ヲ海岸ヘ打上タル時同上ニユツテ海中巖石ノ上其他破船沈没セントスル如シムキ危險ノ場合ニ於テ司令官ノ命令ヲ待タス其艦船ヲ退去スルカ若クハ命令ヲ受ケテ艦船ヲ退去シ後ニ集合スルヘキ場所ヘ來ラサルカ若クハ其場所ヲ擅ニ離去スルカ如キ所爲ヲナス者ハ何レモ軍令ニ違フヲ以テ三月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

第百十七條 軍人守兵ヨリ告示スル禁令ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○軍人守兵ヨリ告ケ知ラスル所ノ禁令海軍官衙内ニ定ムル所ノ禁制ノ件々

ナリテ事故ナクシテ之レヲ犯ス者ハ左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○敵軍前ニアル時本條ノ罪ヲ犯ス者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

二 軍中ニ在テハ一年以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍營中ニ於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ一年ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テハ一年以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○其他第一項第二項ノ外ノ土地ニ於テ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第一百八條 軍人戰鬥ノ號報アル時故ナク其集合場ニ來會セサル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○内外國ト交戦ノ際軍勢足ラサルカ若クハ援兵ヲ求ムルカノ爲メ電信又ハ飛信又ハ號報烟火俗ニノロセト云打等アル時事故ナクシテ集合所ニ來會セサル者ハ軍令ニ違フヲ以テ二月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁

錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

第一百十九條 軍人允許ヲ得テ他方ニ赴キ故ヲク歸着ノ期限ニ後レ十日ヲ過キタル者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍人父母ノ重病若クハ止ムヲ得サル事故アリテ願濟ノ上郷里ニ歸ルカ若クハ他ノ地方へ赴キ許可ヲ得タル日限ニ至リテモ仍ホ歸着セズシテ十日間ヲ過クル者ハ二月ヨリ少カラズ一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第一百二十條 歸休若クハ非職ノ軍人徵召ノ命ヲ受ケ故ヲク到着ノ期限ニ後レタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○歸休トハ父或ハ兄死シ在役者ヲ要スルニアラサレハ一

家ノ生計ヲ失フカ如キ事故ニ據ツテ一時郷里ニ歸ラシメタル者ヲ云ヒ又非職ノ軍人トハ海軍退隱令ニヨリ其職務ヲ罷メラレタル者ヲ云是等ノ軍人ハ一時歸休スルカ若クハ退隱スルハ出師ノ日ハ必ス徵召シテ役ニ充ルモノトス故ニ徵召ノ命ヲ受ケ故ヲク到着ノ期限ニ後レ來會セサル者ハ左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 出師ノ時ニ在テ五日ヲ過キタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○出師ノ時トハ軍ヲ出ス時ヲ云如斯場合ニ於テ徵召ノ期限ヨリ五日間ヲ過キ仍ホ來會セサルモノハ二月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

二 其他ノ場合ニ在テ十日ヲ過キタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○其他ノ場合トハ出師ノ日ニアラサル時ヲ云如斯場合ニ於テ徵召ノ期限ヨリ十日間ヲ過キ仍ホ來會セサル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第二百一十一條 新募ノ兵徵集ノ命ヲ受ケ故ナク到着ノ期限ニ後レタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○新募ノ兵トハ海軍徵兵規則ニヨリ召募スル新兵ヲ云此新兵徵召ノ命令ヲ受ケ故ナク到着ノ期限ニ後レ入營セサル者ハ左ノ一二ノ區別ニ從テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 出師ノ時ニ在テ五日ヲ過キタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○出師ハ軍ヲ出ス時ヲ云因テ徵集ノ命令ヲ受ケ其期限ヨリ五日間ヲ過キ仍ホ入營セサル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

二 其他ノ場合ニ在テ十日ヲ過キタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處ス

○其他出師ノ時ニアラサル場合ニ於テ徵集ノ期限ヨリ十日間ヲ過キ仍ホ入營セサル者ハ十一日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第二百二十二條 司令官事變ニ因リ己ムヲ得ス暗號記號ヲ改メ又ハ配置セラレタル地若クハ其命セラレタル所

ノ事ヲ變更シ直ニ之ヲ申報セサル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○司令官事ノ變動ニヨツテ已ムコトヲ得ス暗號記號等ヲ改正スルカ若クハ守衛ノ地へ配置セラレ其位置ヲ移轉スルカ若クハ上官ノ命令ヲ受ケ其命セラレタル所ノ軍機密策ヲ變更スル等ノコトアレハ一々利害得失ヲ揭ケ其命セラレタル所ノ上官へ申報セサル可カラサルモノトス若シ擅ニ之レヲ變更シテ申報セサルモノハ則チ命令ニ違フヲ以テ二月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

第二百二十三條 軍人命ヲ受ケス艦船内ニ商貨ヲ積載シタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

但破壊若クハ危險ニ罹リタル船舶ノ商貨ヲ保護スル爲メ移積シタル者ハ此限ニ在ラス

○軍人上官及司令官等ノ命令ヲ受ケスノ擅ニ艦船内へ商賣品各種ノ物品ニシテ軍用外ノ諸貨物ナリヲ積載シタル者ハ明治八年第六拾五號達官吏商賈ノ營業ニ悖戾スルヲ以テ十一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處ス併シオカラ難破船救助ニヨリ破壊又ハ危險ニ係リタル商船ノ貨物ヲ保護スル爲メニ移積セシモノハ此例外ナリトス

第二百二十四條 守兵妄リニ銃破ヲ發シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○守兵守衛ノ地ニ在テ司令官ノ命令ヲモ受ケス妄リニ銃ハツ破大砲石火等ノ類ヲ發シタル者ハ二月ヨリ少カラス二年ヨリ

多カラサル輕禁錮ニ處スルモノトス

第二百二十五條 軍人禮礮、號礮、其他空礮、ヲ發スル時ニ當リ
彈丸、銅鐵、瓦石、等ヲ裝填シテ發射シタルモノハ一月以上
二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍人禮礮（禮礮條例ノ號礮合圖ヲナス爲メ大其他空礮等
成規アリ）ヲ發スル時大砲ノ筒へ彈丸、銅鐵、瓦石、等ヲ詰込（詰込
ハチツ）擅ニ之レ
ヲ發射スル者ハ他ノ危害ヲ顧ミズ軍令ニ背クヲ以テ一
月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處ス
ルモノトス

此條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ
例ニ照シテ處斷ス

○本條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサルモノハ此刑法第

四十九條未遂犯罪例ニ據テ處分スルモノトス

第二百二十六條 軍人政治ニ關スル事項ヲ上書建白シ又ハ
講談論說シ若シクハ文書ヲ以テ之ヲ廣告スル者ハ一月
以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス

○軍人政治ニ關スル事項ヲ上書建白ストハ立君政體ヲ廢
シテ共和政治ニ變更セントスルカ或ハ郡縣ノ制ヲ廢シ
テ封建トナサントスルカノ主義ヲ以テ上書又ハ建白ス
ルヲ云ヒ 明治十三年太政官第五十三號ヲ以テ人民一般
ニ講談論說スルトハ公衆ヲ聚メ政事ニ關スルヲ論シ
テ演說スルヲ云ヒ 明治十三年四月太政官第十二號布告
ルヲ禁ス 文書ヲ以テ廣告スルトハ新聞紙、雜誌、雜報、及筆書若
シハ印刷シタル文書ヲ以テ政治ニ關スル事項ヲ世間へ

告ケ知ラス云 明治八年七月太政官第百十九號ヲ以テ
聞紙雜誌雜報等凡ソ官吏タル者官報公告ヲ除クノ外新
切ノ政務ヲ叙述スルヲ禁ス 以上ノ法令ヲ犯ス者ハ一
月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラザル輕禁錮ニ處スルモ
ノトス

第二百二十七條 軍人敵前軍中ニ在テ造言飛語ヲ爲シタル
者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附
加ス

○軍人敵軍前ニアル時若クハ軍中ニ在テ不實ノ妄說ヲ造
リテ兵士ヲ疑惑セシムルガ若クハ大聲ヲ發シテ無用ノ
暴言ヲ吐ク者ハ軍令ニ背クヲ以テ一月ヨリ少カラス一
年ヨリ多カラザル輕禁錮ノ刑ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加
シテ官職ヲ剝奪ス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例
ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ

第二百二十八條 軍人俘虜降人ヲ逃走セシメタル者ハ二年
以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍人俘虜降人ヲ逃走セシムルトハ敵ノ俘虜降人ト故舊
ノ情誼アルカ或ハ從前恩義ヲ受ケタルコトアルニ依テ故
ラニ看守護送者ノ目ヲ忍ヒ自ラ誘導シテ逃走セシムル
ヲ云右等ノ罪ヲ犯ス者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多
カラザル輕禁錮ノ刑ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職
ヲ剝奪ス

看守護送者之ヲ犯シタル時ハ重禁獄ニ處ス
○看守トハ番人ナリ護送者トハ警護人ナリ凡看守護送ヲ

掌ル者ハ至極大切ナル職務ニシテ俘虜降人ヲシテ遁走セシメサル爲メノ番人ナリ其番人ニシテ俘虜降人ヲ故ナシ逃走セシムルハ恰モ看守自盜者ノ如ク甚タ容易ナルコニテ條理上ニ於テモ爲ス可カラサル重罪ナレハ重禁獄ノ刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第二百二十九條

軍人俘虜降人ヲ逃走セシムル爲メ兵器其他ノ器具ヲ給與シ若クハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ

四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス
○軍人俘虜降人ヲシテ逃走セシメシメテ爲メ兵器刀類銃及
其他ノ器具 鋸、鑿、小刀、鐵槌、ノ類ヲ貸與スルカ若クハ逃走スルニ便

ナル方法 竊カニ軍中空隙ノ場所若ク等ヲ指示シテ逃走セシムル者ハ前條ノ如ク自ラ誘導シテ逃走セシムル者トハ罪稍輕ケレハ四月ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス
看守護送者之ヲ犯シタル時ハ輕禁獄ニ處ス

○看守護送者本條ノ罪ヲ犯ス時ハ前條ヨリハ稍輕ケレハ輕懲役ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルベシ

第三百三十條

軍人前二條ニ記載シタル所ノ輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

○軍人此刑法第百廿八條第百廿九條ノ如ク俘虜降人ヲシ

テ逃走セシメント謀リ看守護送者等ニ見咎ラレ未タ其事ヲ遂ケサル者ハ此刑法第四十九條ノ例ニ照ラシ未遂犯罪例ニ據テ處斷スルモノトス

○看守護送者ノ俘虜降人ヲ逃走セシメントシテ他人ニ見咎メラレ未タ其事ヲ遂ケサル者モ又前項ニ同シ

○他ノ人民ト雖モ前條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ其事ヲ遂ケサル者ハ此刑法第三條ニ照ラシ前項ニ據テ處斷スルモノトス

第三百十一條 軍人俘虜降人ヲ看守若クハ護送シ懈怠ニ因リ其逃走ヲ致シタル者ハ十一日以上一月以上ノ輕禁錮ニ處ス

○本條ハ第百廿八條第百廿九條ニ比スレハ其趣キ異ナリ

前條ニハ自ラ監護スルノ職務ヲ以テ故サラニ逃走ヲ助ケタル者ヲ云ヒ本條ノ如キハ一時ノ懈怠ヨリ出テ圖ラズモ逃走セシムルナレハ罪大ニ輕シトスオコダテ因テ十一日ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラレベシ

第三百十二條 軍人逃走ノ俘虜降人ナルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス
但犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

○軍人逃走セシ俘虜降人タルヲ知ツテ故舊又ハ恩義ヲ

受ケタル情誼ニヨリ之ヲ藏匿スルカ或ハ他所へ隠避スル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス然レハ所犯逃走者ノ親屬ナレハ愛情信實ノ意ヨリ出テ新律綱領親屬相爲容隱ノ例モアレハ宥恕シテ其罪ヲ全免スルモノトス

○他ノ人民ト雖モ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍律ヲ以テ罰セラルヘシ但犯人ノ親屬ニ係ル時ハ前項ノ如シ

○第九章 逃亡

自第三百三十三條至第三百三十五條

○逃亡トハ擅ニ艦船屯營本隊若クハ職役ヲ離レテ脱走スルヲ云

第三百三十三條

軍人擅ニ艦船屯營本隊若クハ職役ヲ離レタル者ハ左ノ區別ニ從ヒ逃亡ト爲シテ處斷ス

○軍人他方へ赴ク時ハ其筋ノ允許ヲ得サレハ他行スルヲ得ス然ルニ自儘ニ職務ヲ解キ艦船屯營本隊等ヲ離走シタル者ハ左ノ一二三ノ區別ニ據ツテ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ輕禁獄ニ處ス

○敵軍前ニアル時本條ノ罪ヲ犯ス者ハ最モ重ケレハ日限ニ拘ラス死刑ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テ三日ヲ過キタル者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍營中ニ於テ本條ノ如ク擅ニ職役ヲ離レテ逃走シ其日ヨリ三日間ヲ過キ猶歸ラサル者ハ逃亡ト見做シ假令後日歸營スルトモ二月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テ六日ヲ過キタル者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニ於テ擅ニ職役ヲ離レテ逃走シ其日ヨリ六日間ヲ過キ猶歸ラサル者ハ逃亡ト見做シ假令後日歸營スルトモ二月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ

剝奪ス

○他ノ人民ト雖モ教唆若クハ幫助シ軍人ヲシテ本條ノ罪ヲ犯サシムル者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍人ニアラスト雖モ軍人ト同シク論シ此刑法ヲ以テ罰スルモノトス

第三百三十四條 軍人四人以上相黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

○本條ハ數人共犯例ニ據テ處斷スルモノニシテ軍人四人以上申合相連帶シテ前條ノ如ク自儘ニ職務ヲ解キ艦船、屯營、本隊等ヲ離去シタル者ハ左ノ一二三ノ區別ニ據テ罪ノ輕重ヲ定ムルモノトス

一 敵前ニ在テハ首魁ハ死刑ニ處シ其他ノ者ハ輕禁獄

ニ處ス

○敵軍前ニアル時軍人四人以上申合セ擅ニ職役ヲ離レ艦船屯營本隊等ヲ脱出スル者ハ恐ラクハ敵ニ内通シテ軍機密策ヲ洩泄スルカ若クハ反亂ノ隱謀ヲナスカト見做サ、ルヲ得ス因テ期日ヲ限ラス直ニ逃亡ト決斷シ首魁ハ死刑ニ處シ其他ノ犯人從スル者ハ何レモ輕禁獄ニ處スルモノトス

二 軍中ニ在テ三日ヲ過キタル者ハ首魁ハ輕禁獄ニ處ス其他ノ者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○軍中ニ於テ軍人四人以上申合相連帶シ擅ニ職役ヲ離レ艦船屯營本隊等脱出シテ其日ヨリ三日間ヲ過キ猶歸ラ

カル者ハ逃走ト見做シ首魁ハ輕禁獄ニ處シ其他ノ犯人從スル者ハ何レモ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

三 其他ノ場合ニ在テ六日ヲ過キタル者ハ首魁ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ其他ノ者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加ス

○其他第一項第二項ノ外ノ場合ニ於テ軍人四人以上申合セ相連帶シテ前項ノ如ク自儘ニ職務ヲ解キ艦船屯營本隊等ヲ離去シ其日ヨリ六日間ヲ過キ猶歸ラサル者ハ逃亡ト見做シ首魁ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ其他ノ犯人從スル者ハ何レモ二月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官

ヲ附加シテ官職ヲ剝奪ス

○他ノ人民ト雖ヒ教唆若クハ幫助シ軍人ヲシテ本條ノ罪ヲ犯サシムル者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍人ニ非スト雖ヒ軍人ト同シク論シ此刑法ヲ以テ罰スルモノトス

第三百三十五條 軍人敵ニ奔リタル者ハ死刑ニ處ス

○軍人敵ニ奔ルトハ朝廷ニ叛キ敵ノ陣營へ遁走スルヲ云此等ノ者ハ兼テ反逆ノ意アツテ軍中ノ機密ヲ敵ニ泄サントスルカ或ハ敵ニ内通セシメテ發覺セントスルヲ恐ル、カニ依テ遁走スル者故情甚惡ムヘキ者トス因テ死刑ニ處スルナリ

○他ノ人民ト雖ヒ教唆若クハ幫助シ軍人ヲシテ本條ノ罪ヲ犯サシムル者ハ此刑法第三條ノ例ニ照ラシ軍人ニア

テスト雖ヒ軍人ト同シク論シ此刑法ヲ以テ罰スルモノトス

○第十章 詐偽 自第三百三十六條

○詐偽トハ事ヲ告ルニ實ヲ以テセス或ハ兵役ヲ免ルヘキ爲メ疾病ヲ作爲スルカ又ハ他人ノ嘱托ヲ受ケテ偽証ヲナスカノ如ク總テイツハルヲ云

第三百三十六條 軍人敵地若クハ敵情ヲ探偵スルノ命ヲ受ケテ詐偽ノ報告ヲ爲シタル者又ハ戰場ニ在テ命令ヲ詐リ傳ヘタル者ハ五月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

○軍人敵地ノ要害或ハ道路山谷ノ險夷若クハ敵ノ内情ヲ探偵スルノ命令ヲ受ケ之レヲ報告スルニ實ヲ以テセス又戰場ニ於テ軍令ヲ傳フ可キノ命令ヲ受ケ之レヲ傳フルニ詐リ傳ヘタル者ハ大ヒニ交戦上ノ障害トナルヲ多クシハ何レモ五ヶ月ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル

重禁錮ノ刑ニ處スルモノトス

第三百三十七條 軍人糧食ノ支給ヲ掌リ健康ヲ害ス可キ食料飲料ヲ配布シタル者ハ輕懲役ニ處シ因テ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

○軍人兵糧ヲ支給スルヲ掌リ身體ノ障害トナルヘキ食料腐敗セシ飲料不潔混淆物ノ多キ飲等ヲ軍中へ配付シ之ヲ飲食セシムルモノハ軍人ノ健康ヲ害シ傳染病ヲ獲生セシメ公益ヲ損害スルニヨリ之ヲ輕懲役ニ處ス若シ本條ヲ犯シ人ヲ死ニ致シタル者ハ罪甚タ重ケレハ有期徒刑ニ處スルモノトス

第三百三十八條 海軍醫官其職務ヲ以テ疾病傷痍及ヒ身體強弱ノ偽證ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮

ニ處ス其囑托ヲ爲シタル軍人亦同シ

○海軍醫官其職務ヲ以テ疾病傷痕及身體強弱ノ偽證ヲ爲
 ストハ例ヘハ疾病ヲ以テ兵役ヲ免レントシ傷痕ヲ以テ
 扶助料ヲ受ケント謀リ詐僞ノ奸策ヲ爲ス者ト知リナカ
 ラ他人ノ囑托ヲ受ケテ疾病ニアラサル者ヲ疾病ト偽證
 シ傷痕ニアラサル者ヲ傷痕ト偽證シ強壯ノ者ヲ軟弱ト
 偽證スルカ如ク詐僞ノ診斷書ヲ作ルヲ云如斯者ハ二月
 ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル重禁錮ニ處シ剝官ヲ
 附加シテ軍醫ノ官職ヲ剝奪ス

○其囑托ヲ爲ス軍人トハ詐僞ノ奸策ヲ以テ軍醫ニ頼ミ入
 レ診斷ノ偽證ヲ爲サシムルヲ云如斯者ハ軍醫ト同様ノ
 刑ニ處スルモノトス

第三百三十九條 軍人疾病ヲ作爲シ身體ヲ毀傷シテ兵役ヲ
 免ル、トヲ圖リタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
 處ス

○海軍ノ兵役ヲ免レシメ爲メ疾病ニアラサルニ虛病ヲ發ス
 カ或ハ自己ノ身體ヲ毀傷シテ不具トナルカノ如キ詐僞
 ノ奸策ヲ爲ス者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサ
 ル重禁錮ニ處スルモノトス

海軍刑法註釋 畢

海軍刑法註釋附錄

第一章 海軍下士以下懲罰則

(參考) ○太政官海軍省達明治十四年十月廿八日

海軍下士以下懲罰則別冊ノ通相定候條此旨相達候事

海軍下士以下懲罰則

第一章

第一條 罰則ハ海軍下士卒及ヒ準卒ノ故意疎虞懈怠遺失ノ輕犯ニシテ刑法ニ該ラサル者ヲ懲戒スルノ罰典トス但他ノ法律規則ニ依リテ論ス可キ者ハ各其法律規則ニ從フ

第二條 艦船營長ハ其揮下ニ属スル下士卒及準卒ノ此罰

則ヲ犯シタル者ヲ處斷ス艦船營長ハ時宜ニ因リ其副長ニ委任シテ停給以下ノ罰ニ該ル者ヲ處斷セシムルヲ得

鎮守府火藥庫ニ在テハ其長官ヨリ衛兵ノ士官以上ニ委任シテ此罰則ヲ犯シタル者ヲ處斷セシムルヲ得

第三條 罰目左ノ如シ

- 一 禁錮
- 二 停給
- 三 謹慎
- 四 科役

第四條 禁錮ハ一日以上三十日以下ト爲ス禁錮ハ艦船營

ニ於テ檻牢又ハ一室内若クハ帆布圍内ニ錮ス(此刑法註釋六十八丁目參觀)

又時宜ニ因リ海軍監獄ノ禁錮場ニ錮スルヲ得但其取

扱ハ獄則ニ從フ

第五條 禁錮ハ三日ヲ過クル時ハ艦船營内ノ指定シタル

場處ニ於テ毎日午前一時間午後一時間運動ヲ爲サシム

ヘシ又禁錮人ニハ毎日舊索ヲ解キ棋碁二百五拾錢ヲ作ラシムヘシ

第六條 禁錮所ニハ修身學海軍學ニ管スル書籍及ヒ寢具

必要品ノ外小刀其他ノ器具ヲ入ルヲ許サス又禁錮人

ニハ吹煙ヲ許サス

第七條 禁錮人ハ艦船營長ノ允許ヲ受クルニアラサレハ

他人ニ接見若クハ通信スルヲ許サス

第八條 禁錮限内ハ艦船營長若クハ長官意見ヲ以テ其日

給及ヒ加俸ヲ減少シ若クハ停止スルヲ得ス

第九條 禁錮日數ヲ計算スルニ受罰ノ初日ハ時間ヲ論セ
ス一日ニ算入シ放免ノ日ハ之ヲ算入セス放免満期ノ翌
日午前九時ヲ過クル可カラス

第十條 風土氣候ノ健康ヲ害スベキ地方又ハ傳染病アル
地方ニ於テハ醫官ノ申立ニ依リ禁錮ヲ中止シ又ハ之ヲ
減輕スルヲ得其疾病アル時亦同シ

第十一條 停給ハ一日以上三十日以下ト爲ス停給ハ日給
及ヒ加俸ヲ停止ス

第十二條 謹慎ハ一日以上十四日以下ト爲ス其日給加俸
ハ減少停止セス之ヲ下士罰トナス謹慎ノ艦船營長若ク

ハ屯集所ニ於テ之ヲ行ヒ外出ヲ許サス艦船營内屯集所
内ノ公務ハ仍ホ之ヲ爲サシム

第十三條 科役ハ一日以上十四日以下ト爲ス其日給ハ減
少停止セス之ヲ卒及ヒ準卒ノ罰ト爲ス
科役ハ課外ニ若干時間ノ役ヲ加フ

第十四條 卒及ヒ準卒十六歳ノ者及新兵入籍シテ三日未
滿ノ者所犯禁錮又ハ停給ノ罰ニ該ルト雖モ宥恕シテ科
役ニ處ス

第十五條 此罰則ノ數個俱ニ發シタル時ハ一ノ重キ者ニ
從テ處斷ス
若シ處犯一箇ニシテ違警罪ニ觸レ其處斷ヲ受ケタル時

ハ此罰ヲ科スルコトヲ得ス

第二章 犯則ノ款目

第十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者禁錮ニ處ス

- 一 擅ニ艦船營本隊若クハ職役ヲ離レタル者
- 二 允許ヲ得テ他方ニ赴キ故ナク歸着ノ期限ニ後レタル者
- 三 歸省若クハ休暇中出師ノ時ニ在テ徵召ノ命ヲ受ケ故ナク到着ノ期限ニ後レタル者
- 四 疾病事故ニ托シ勤務ヲ忌避スル者
- 五 海軍ノ規則命令ヲ誹謗シタル者
- 六 守兵故ナク其規則ニ違ヒタル者

七 人ヲ懲罰ニ陷ルタメ申告ヲ爲シタル者

八 懲罰ニ該ルヘキ者ヲ曲庇スル者

九 艦船營若クハ屯集所ニ於テ醜行ヲ爲シタル者

第十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ停給ニ處ス

- 一 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者
- 二 公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者
- 三 令狀執行ノ命ヲ受ケ之レヲ怠リタル者
- 四 故ナク定數ノ被服ヲ所持セサル者
- 五 允許ヲ得スシテ官給其他渡付ノ物品ヲ他人ニ貸與シ又ハ他人ヨリ借用シタル者
- 六 擅ニ他人ノ寢床ニ寢臥シ若シクハ濫リニ他人ノ物

- 品ヲ使用シタル者
- 七 故ヲニ糧食分配ノ不平均ヲ致シタル者
- 八 定時限ノ外又ハ禁制ノ場所ニ於テ燈火其他ノ火ヲ用ヒ若クハ吹煙シタル者
- 九 擅ニ艦船營内ニ外人ヲ宿泊セシメタル者
- 十 航海又ハ事業中ニ酩酊シタル者
- 十一 酩酊シテ外ヨリ歸リ事業常ノ如クナル能ハサル者
- 十二 允許ヲ得スシテ艦船營内ニ酒類ヲ携ヘ歸リ又ハ賣買シタル者
- 十三 故ナク事業ニ就カズ又ハ怠リタル者

- 十四 歸省若クハ休暇中平時ニ在テ徵召ノ命ヲ受ケ故ナク到着ノ期限ニ後レタル者
- 十五 疎虞懈怠ニ因テ官物若クハ官ノ文書ヲ遺失毀損シタル者
- 十六 允許ヲ得航行シ故ナク其地ニ到ラザル者
- 第十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ七日以下ノ停給ニ處ス但下士ハ謹慎シ卒及ヒ準卒ハ科役ニ處スルヲ得
- 一 禮式ヲ失シタル者
- 二 濫リニ砲門ヨリ出入シタル者
- 三 艦船營内若クハ屯集所内ニ於テ定所ノ外ニ屎尿シタル者

- 四 守所又ハ整列中ニ在テ喧嘩若クハ雜話シタル者
- 五 允許ヲ得テ上陸又ハ外出ノ後歸期ヲ怠リ三日ヲ過キサル者
- 六 檣樓端船其他ノ場所ニ於テ濫リニ睡眠シタル者
- 七 濫リニ士官己上ノ室ニ入り若クハ甲板上ノ定處外ニ運動シタル者
- 八 定處外ヨリ物品ヲ投棄シタル者
- 九 砲具其他凭ル可カラサル場所ニ凭リ休憩シタル者
- 十 整列若クハ當直交代ノ時遲參シタル者
- 十一 事業中剪髮剃鬚スル者
- 十二 夜中巡檢後故ナク寢所ヲ離レタル者

十三 艦船營内若クハ屯集所内ニ於テ擅ニ鳥獸類ヲ畜フ者

十四 濫リニ庖厨ニ入りタル者

十五 故ナク制服ヲ着セサル者

十六 官物ヲ浪費シタル者

十七 手牒ヲ棄毀若クハ遺失シタル者

第十九條 前數條ニ記載シタル外艦船營内若クハ屯集所ノ規則ニ背キタル者ハ七日以下ノ停給ニ處ス但下士ハ謹慎ニ卒及準卒ハ科役ニ處スルヲ得

参考)

○太政官

海軍省へ達同十四年十二月

別紙陸軍省伺憲兵隊將校以下警察上ニ係ル職務上犯罪處

分ノ儀朱書ノ通及指令候條爲心得此旨相達候事

別紙 陸軍省伺

憲兵隊將校以下輕犯アリ其軍紀ニ關スル者ハ該條例第十九條ニ據リ陸軍懲罰令ヲ以テ處分可致ノ處警察ニ係ル職務上ノ過誤失錯ハ兼隸ノ三省ニ於テ直ニ處分可相成哉又ハ自分ヲ管轄スル上ハ悉皆於當省懲治可致儀ニ有之候哉若シ然ル時ハ何レノ規則ニ據リ如何處分可致哉右ハ職務實施ノ期追々差迫候間至急御指令有之度此段相伺候也

○裁令

伺ノ趣警察ノ職務ニシテ事ノ軍紀ニ關セサル過誤失錯ト

雖_レ當分ノ内其省陸軍懲罰令ニ照ラシ處分可致事

(参考)

○海軍省丙第二十三號 海軍同十五年
一般達四月一日

海軍下士以下懲罰則取扱手續左ノ通相定候條此旨相達候事

懲罰則取扱手續

第一條 此罰則ヲ犯シタル者其申告ヲ爲ス者ハ犯者所属ノ分隊長若クハ當直士官若クハ衛兵士官ヲ經由シ之ヲ爲スヘシ

第二條 艦船營長若クハ委任ヲ受ケタル衛兵士官以上若クハ艦船ノ副長ハ前條ノ申告ヲ受ケ又ハ犯則者アルヲ認知シタル時ハ審査ヲ爲シ事實相違ナキニ於テハ此

罰則ニ照ラシ處斷スベシ

第三條 犯則者ヲ處斷スルハ言渡書ヲ艦船營ニ在テハ分隊長屯集所ニ在テハ士官ヲシテ之ヲ宣讀セシム其宣讀ニ當リ艦船營長若クハ委任ヲ受ケタル衛兵士官以上ノ意見ヲ以テ兵員ヲ整列セシムルコトアルベシ

第四條 此罰則ニ依リ處斷セラレタル者アル時ハ其罪狀罰名ヲ其附艦船營ノ履歷簿、行狀簿及ヒ本人ノ手牒ニ記載スベシ

第二章 海軍治罪法御制定以前舊慣ニ據リ取扱法

(參考)

○司法省丁第二號

大審院 明治十五年 裁判所達 一月十二日

陸海軍治罪法御制定以前舊慣ニ據リ治罪手續執行ノ儀陸

海軍兩省ヨリ太政官へ別紙ノ通相伺朱書ノ通御指令相成候條爲心得此旨相達候事

(陸軍省伺ハ 未款ニ出ス)

海軍治罪法御制定迄假手續ニ因リ取扱方ノ儀ニ付伺

海軍治罪法御制定ノ儀本月七日付往出第一五七二號ヲ以テ上請仕置候處右御審查御發令相成候ニハ暫ク日數ヲ要候趣ニ承及候ニ就テハ新刑法ノ儀ハ常律共ニ實施不相成ハ不都合ニ有之候間右刑法實施ノ日迄治罪法御制定不相成時ハ當分別紙數項ノ手續ヲ以テ裁判事務取扱其他ハ都テ從來ノ慣例ニ依リ施行致候ハ、差支無之見込ニ候條御免許有之度此段伺出候也

明治十四年十二月七日 海軍卿川村純義

太政大臣三條實美殿

裁判事務取扱手續

海軍々人屬ノ海軍刑法及ヒ普通刑法ノ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ海軍法衙ニ於テ審判スヘシ
常人ノ海軍刑法ヲ犯シタル者前同斷
海軍々人屬普通刑法ノ違警罪ヲ犯シタル者重罪輕罪ト共ニ發シタル時前同斷
海軍々人屬ト常人ト共ニ普通刑法ヲ犯シ軍人屬正犯ニシテ常人從犯ナル時モ前同斷
海軍々人屬ト常人ト共ニ普通刑法ヲ犯シ俱ニ正犯ナル

時海軍法衙ニ於テ最初其取調ニ着手シタル時ハ前同斷
海軍々人屬在官在役中罪ヲ犯シ免官免役後發覺シタル時ハ前同斷

流刑禁獄輕禁錮ノ刑ニ該ル者ハ海軍獄舎ニ錮シ從來ノ禁錮ノ如ク取扱ヒ徒刑懲役ニ該ル者ハ從來ノ徒刑ノ如ク取扱ヒ重禁錮ニ該ル者ハ從來ノ戒役ノ如ク取扱フヘシ
附加刑中禁治産監視ノ處分ハ地方警察官ニ托スヘシ

朱 裁 令

海軍治罪法施行ノ日マテ舊慣ニ依リ治罪手續ヲ執行候儀ハ伺之通
第一條 伺之通

第二條 常人ト雖_レ海軍刑法ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ軍衙ニ於テ審判スベシ

第三條 數罪俱發ノ例ニ從フベシ

第四條 第五條 軍人屬ト常人ト共ニ普通刑法ヲ犯シタル時軍人軍屬ハ軍衙ニ於テ處分シ常人ハ司法々衙ニ付スベシ

第六條 在官在役中罪ヲ犯シ免官免役後發覺シタル時海軍刑法ヲ犯シタル者ハ軍衙ニ於テ處分シ普通刑法ヲ犯シタル者ハ司法々衙ニ付スベシ

第七條 伺之通

第八條 監視ノ執行ハ其地方警察署ニ付スヘシ

(参考)

○海軍省乙第壹號府達同十五年三月九日

海軍治罪法御制定迄當省裁判事務取扱手續別紙ノ通所轄一般へ相達候條爲心得此旨相達候事

別紙 丙第七十五號明治十四年十月廿八日 海軍一般

海軍治罪法御制定迄裁判事務取扱手續別紙ノ通伺定候條此旨相達候事

裁判事務取扱手續

- 一 海軍々人屬ノ海軍刑法及ヒ普通刑法ノ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ海軍法衙ニ於テ審判スベシ
- 一 常人ト雖_レ海軍刑法ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ軍衙ニ於テ審判スベシ

一海軍々人屬普通刑法ノ違警罪ヲ犯シタル者重罪輕罪ト
 供ニ發シタル時ハ數罪俱發ノ例ニ從フヘシ
 一海軍々人屬ト常人ト共ニ普通刑法ヲ犯シタル時軍人軍
 屬ハ軍衙ニ於テ處分シ常人ハ司法々衙ニ付スヘシ
 一海軍々人屬在官在役中罪ヲ犯シ免官免役後發覺シタル
 時海軍刑法ヲ犯シタル者ハ軍衙ニ於テ處分シ普通刑法
 ヲ犯シタル者ハ司法々衙ニ付スヘシ
 一流刑禁獄、輕禁錮ノ刑ニ該ル者ハ海軍獄舎ニ錮シ從來ノ
 禁錮ノ如ク取扱ヒ徒刑懲役ニ該ル者ハ從來ノ徒刑ノ如
 ク取扱ヒ重禁錮ニ該ル者ハ從來ノ戒役ノ如ク取扱フヘシ
 一附加刑中禁治産監視ノ執行ハ其地方警察署ニ付スヘシ

一前數項ノ外從來ノ慣例ニ依リ施行スベシ

(參考) ○太政官第二十號布告 明年十五年四月八日

舊軍律及ヒ普通刑法共ニ罪名アリテ所犯刑法(海陸軍刑)

施行以前ニ係ル者ハ本年一月第四號(新舊比較表ナリ此刑法五丁目ニ載ス)布

告ノ例ニ準シ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷スベシ

但罰金科料ニ該ル者ハ明治十四年十二月十二第八十一號布告

(普通刑法新舊比較表ナリ茲ニ略ス)ニ依ルベシ

右奉 勅旨布告候事

(參考) ○陸軍省伺 同十四年二月十日

陸軍治罪法御頒布相成迄軍人軍屬犯罪ニ係ル治
 罪ハ舊慣ニ依リ可然哉ノ伺

陸軍新刑法ノ儀ハ不日御頒布普通法律ト共ニ來十五年一月一日ヨリ實施ノ御沙汰可相成就テハ治罪法ノ儀モ草案取調過日上申ニ及候處右ハ現今御詮議中ニテ年内餘日モ無之或ハ刑法ト共ニ實施ノ運ニ相成間布哉ト竊ニ恐察仕候果シテ然ル時ハ軍人軍屬ノ犯罪ニ係ル總テ治罪ノ手續ハ追テ治罪法御頒布相成迄一切舊慣ニ依リ處分致シ可然哉尤モ別紙記載ノ箇條ハ慣例ニモ據リ難ク候間至急御詮議ノ上何分ノ御指揮有之度此段相伺候也

別紙

軍人軍屬ノ重罪輕罪ハ總テ軍衙ニ於テ處分致シ可然哉

(第一條)

但重罪輕罪ト俱ニ發スル違註罪ハ如何可相心得哉
軍民共犯ニ係ル時ハ軍人軍屬ハ軍衙ニ於テ處分致シ常人ハ司法々衙ニ付シ可然哉將又軍民ノ正從犯ニ係リ軍人正犯ナル時ハ軍衙ニ於テ從犯ヲ併セ之ヲ審判致シ軍民共ニ正犯ナル時ハ先キニ告訴告發ヲ受タル法衙ニ於テ審判致シ可然哉 (第二條)
軍人軍屬任官若クハ就役ノ前罪ヲ犯シ在官現役中發覺スル者ハ軍衙ニ於テ審判致シ其在官現役中罪ヲ犯シ免官若クハ免役ノ後發覺スル者ハ之ヲ司法々衙ニ付シ可然哉 (第三條)
歸休兵及ヒ豫備後備ノ軍籍ニ在ル者召集中罪ヲ犯シ若

クハ舊罪發覺スル者ハ軍衙ニ於テ審判致シ犯罪解散ノ後發覺スル時ハ司法々衙ニ付シ可然哉 (第四條)
歸休兵及ヒ豫備後備召集ノ期ニ後ル者ハ司法々衙ノ審判ニ付シ可然哉 (第五條)
新陸軍刑法第二十七條ニ掲クル所ノ理事ハ評事若クハ主理ヲ以テ之ニ充テ裁判長ハ右鎮台營所ニ於テハ軍法會議ノ議長ヲ以テ之ニ充テ可然哉 (第六條)
新陸軍刑法ニ掲クル所ノ流刑及ヒ禁獄輕禁錮拘留ニ處スル者ハ總テ現今禁錮ノ取扱ニ徒刑懲役ニ處スル者ハ現今徒刑ノ取扱ニ重禁錮ニ處スル者ハ現今戒役ノ取扱ニ致シ可然哉 (第七條)

軍人軍屬ヲ監視ニ付シタル時其執行處分ノ儀ハ其地方警察署ニ付シ可然哉 (第八條)
朱裁令

陸軍治罪法施行日迄舊慣ニ依リ治罪手續ヲ執行候儀ハ伺之通

第一條 伺之通

但書數罪俱發ノ例ニ從フベシ

第二條 軍人軍屬ハ軍衙ニ於テ處分シ常人ハ司法々衙ニ付スベシ

第三條 軍人軍屬任官若クハ就役ノ前罪ヲ犯シ在官現役中發覺スル者ハ軍衙ニ於テ處分シ其在官現役中罪ヲ犯

シ免官若シクハ免役ノ後發覺スル時陸軍刑法ヲ犯シタル者ハ軍衙ニ於テ處分シ普通刑法ヲ犯シタル者ハ司法衙ニ付スベシ

第四條 伺之通

第五條 歸休兵及豫備後備兵召集ノ期ニ後ル者ハ軍衙ニ於テ處分スベシ

第六條第七條第八條 伺之通

(參考) ○陸軍省 各鎮達 明治十五年四月

新刑法實施ニ付陸軍裁判所伺別紙ノ通及指令候條其臺ニ於テモ同様可相心得此旨相達候事

但營所ニ在テハ士官以上ノ犯罪並ニ下士卒ノ重罪ニ該

ルヘキ者ハ本臺ヘ伺出ベシ

別紙 明治十四年十一月廿四日

明治十五年一月ヨリ新刑法御實施ノ上ハ犯罪處分ノ方法從來ノ慣例ニ依リ區分可致儀ニ付既ニ過ル九日赤第七十五號ヲ以テ伺出候處尙別紙ノ諸件疑議ニ涉リ候間此段相伺候也

第一條 軍人軍屬ノ犯罪ハ其官等或ハ刑名ノ區別ニヨリ處分方ニ於テ夫々權限モ有之候處新刑法實施ノ上ハ少佐並ニ相當官以上ノ犯罪ハ狀ヲ具シテ本省ニ伺出尉官並ニ相當及試補準士官ノ禁錮以上ニ當ル者ハ軍法會議ヲ經ルノ後本省ニ伺出處分シ文官七等以上

ハ少佐以上ニ準シ其十等以上ハ準士官以上ニ準シ可然哉

第二條 準流以上ノ犯罪ハ經伺ノ上處斷致ス慣例ニ候處新刑法實施ノ上ハ死刑ニ當ル者ヲ除クノ外伺出ニ及ハサル儀ト相心得可然哉

第三條 從來他管ノ下士卒逃亡ニ週内ニ自首シ懲罰ニ該ルモノハ裁判官ニ於テ取扱候慣例ニ候處新刑法實施ノ上ハ懲罰ハ軍法會議ノ關セサル所ニ付六日以内ニ自首就捕等ノ者ハ直ニ本管ニ還付致シ可然哉
但本文懲罰令ノ犯重輕罪ト俱發ニ係ル時ハ重輕罪ノミ處分シ可然哉

第四條 豫備軍等ノ召集ニ應セサル罪軍律ニ依テ處分スル者ハ自宅禁錮ニ處スルノ成例ニ候處新律實施後ハ其所管陸軍營所ノ囚獄ニ於テ刑ヲ執行致シ可然哉

第五條 新舊ノ律ヲ比較シテ舊懲罰ヲ以テ處斷スル者竊盜一圓未滿及ヒ逃亡ニ週内自首スル者ノ類ハ當所ニ於テ宣告ノ上該隊ニ付シ執行セシメ其隊外ニ係ルハ囚獄ニ錮シ可然哉

第六條 死刑ヲ除クノ外刑名宣告ハ總テ法庭ニ於テ執行致シ可然哉

第七條 死刑ヲ兵隊整列前ニ於テ執行スルノ成規廢止セラレ、ニ付テハ其護送及ヒ執行ハ其地屯在ノ歩兵一小隊ヲ以テ之ニ充テ其他取扱ノ手續ハ從前ノ通ニ

テ可然哉

第八條 從來犯罪ニヨリ勳章ヲ剝奪スル者ハ賞勳局ノ
辭令書ヲ要シ然ル後之ヲ奪フノ例ニ候處新刑法實施
ノ上ハ右辭令ヲ待タス直ニ剝奪致シ可然哉

但從軍記章モ本文ニ準シ取扱可然哉

第九條 從來止刑日ノ御定有之候處新刑法實施ノ上ハ
大祀令節國祭等ニ當ルト雖モ死刑ヲ除ク外執行致
シ不苦哉

第十條 新軍律ニ下士上等卒ハ犯罪ニヨリ其官職ヲ失
フトアリ右ハ何等卒ニ下シ可然哉

第十一條 罰金科料ヲ宣告ヲ告ケ未納完セサル前ニ於

テ犯人死去スルキハ之ヲ徵收セサル哉

第十二條 軍人及ヒ軍人ニ非サル者ヲ證人又ハ鑑定人
等トシテ喚起シタルキハ旅費日當等其他ノ費用ハ本
人ノ請求ニ依リ時々相當ノ金額ヲ定メ伺出可然哉

第十三條 犯罪ニ因リ生シタル贓物ノ還給損害ノ賠償
ハ被害者陸軍部内ノ者ニ限り左ノ通處分シ可然哉

- 一 贓物輾轉シテ他人ノ手ニ在ル時ハ被害者ノ請求
ニ因リ還給セシム
- 二 贓物輾轉シテ他人ノ手ニ在ル時ハ公商ニ由リ買
取シタル物品ハ其公商若クハ被害者ヨリ買取者
ニ原價ヲ償ハサレハ直ニ還給セシムルヲ得

- ス若シ公商ニ由ラスシテ買取シタル物品ハ其還給ヲ拒ムコトヲ得ス
- 三 贓物ヲ受ケ若クハ典買シタル者其贓物現在スル中ハ還給ヲ拒ムコトヲ得ス
- 四 贓物交換シテ現在スル時ハ公商ニ由ルト否トナ區別シ第二項ノ例ニ從テ處分ス
- 五 贓物己ニ費用シタル時若クハ識別ス可カラサル時ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得
- 六 人ノ名譽若クハ殺傷ニ關スル損害其他犯罪ノ爲メ生スル所ノ損害ハ其賠償ヲ請求スルコトヲ得但失火ハ此限ニ非ス

○指令

- 第一條 従前ノ通
但士官ニシテ官職ヲ失ハサル者ハ伺出ニ及ハス
- 第二條 伺之通
- 第三條 但書共従前之通
但數罪俱發例ニ依ルノ限ニ在ラス
- 第四條 伺之通
- 第五條 所屬長官ノ處分ニ付スヘシ但他ノ軍管ノ者ニ係ル時ハ第三條指令ノ通
- 第六條 重罪ノ刑ハ従前ノ通兵隊整列前ニ於テシ其他ハ伺之通

第七條 伺之通

第八條 伺之通

但從軍記章ノ儀ハ其都度可伺出事

第九條 伺之通

第十條 一等卒ニ下スベシ

第十一條 普通刑法附則第二十條ニ依ルベシ

第十二條第十三條 從前ノ通

第三章 海陸軍刑法ニ係ル種々ノ法則

(参考) ○陸軍省乙第五號達 明治十五年二月

下士上等卒ニシテ陸軍刑法及普通刑法海軍刑法ニ依リ其官職ヲ失ヒ卒トナル者席次ノ儀一二等アル者ハ總テ一等卒ノ後ニ置キ一二等給アル者ハ一等給ヲ支給候儀ト可相心得此旨相達候事

(参考) ○陸軍省乙第十二號達 同二十五年二月二十八日

刑法及ヒ治罪法頒布相成候ニ付テハ其解釋說明等ニ係ル事項往々伺出候向モ有之候處右ハ行政長官ノ指令ニ由リ事ニ從フヘキ者ニ無之依テ自今右等各自ノ疑ヲ質スニ止マルモノハ總テ所管長官ヨリ總務局へ質問候様可致此旨

相違候事

(参考) ○司法省丙第十三號 大審院裁判所 警視廳府縣 達 同十五年四月十四日
 軍人軍屬役限内老疾收贖及存留養親ノ儀別紙ノ通陸軍省ヨリ太政官へ相伺朱書ノ通御裁令相成候條常人ニ付テモ右ニ照準處分スヘキ儀ト可心得此旨相違候事

軍人軍屬役限内老疾收贖及存留養親等ノ儀ニ付伺陸軍々人軍屬ノ犯罪舊軍律ニ依リ流刑徒刑等ニ處スル者其刑期中ハ總テ普通懲役人同様ノ取扱ニテ即チ役限内老疾收贖及存留養親等願出候者ハ常律ニ照シ差許來候處新刑法ニ於テハ右等廢止セラレ候得共客年十二月以前既ニ願出調査中ニ係ル者ハ勿論其未タ願出サル者

及新律實施ノ後陸軍刑法第二條新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從ヒ舊法ニ處シタル者ハ自今以後ト雖モ總テ舊律ニ照シ處分致候方至當ト相考候間何分ノ御指揮有之度此段相伺候也

明治十五年二月十日

陸軍卿 大山 巖

太政大臣 三條實美殿

朱裁 令 明治十五年三月十九日
 伺之通

海軍刑法註釋附錄 畢

明治十五年二月廿四日版權免許定價金一圓
 同 年六月 刻成出版二十五錢

大坂府平民
 註釋人 彈 舜 平

攝津國西成郡曾根崎村
 第三百二十五番地

同 府平民
 出版人 柳原喜兵衛

東區北久太郎町
 四丁目十五番地

各 地 賣 捌

東京 日本橋通 一丁目	北畠茂兵衛	岩代福島	上野屋 彦太郎
同 二丁目	稻田佐兵衛	同 若松	齋藤 八四郎
同芝三島町	山中市兵衛	陸前盛岡	澤田 正 助
上野高崎	後藤 綱 吉	羽後秋田	本間 金之助
下總佐倉	中井藤右衛門	羽前山形	五十嵐 太右衛門
相模小田原	米屋忠兵衛	備前岡山	渡邊 源 米
駿河静岡	佐藤 俊 平	安藝廣島	荒木 豐次郎
甲斐甲府	内藤傳右衛門	石見濱田	安達 幾太郎
上總水更津	鈴木長兵衛	讚岐丸龜	市原 商 店
常陸水戸	川又銀 藏	伊豫宇和島	和氣 源 藏
下野宇津宮	佐藤 靜 雄	薩摩鹿兒島	吉田 甚 平
越後高田	室 直三郎	陸奥青森	池田 吉 助
同 新潟	堀 治 作	尾張名古屋	片野 東四郎
陸前仙臺	菅原安兵衛	三河豊橋	高須 又 八

書

美濃岐阜	水谷善七	西京寺町御池	佐々木惣四郎
信濃松本	高見屋甚左衛門	近江大津	澤惣二郎
加賀金澤	近田太平	伊勢津	篠田伊十郎
越前福井	森下源二郎	播磨姫路	伊藤和七郎
同 敦賀	矢頭伊八	因幡鳥取	横山安二郎
大阪 心齋橋南	同 松村九兵衛	但馬豊岡	由利安助
同 南久寶寺町	同 前川善兵衛	出雲松江	川岡清助
同 四丁目	同 備後町四丁目吉岡平助	長門山口	宮川臣吉
攝津兵庫	同 金港堂	阿波徳島	黒崎源助
紀伊和歌山	野田大二郎	肥後熊本	長崎次郎
西京寺町四條	田中治兵衛	豊前小倉	中島卯助
同 三條	福井源二郎		

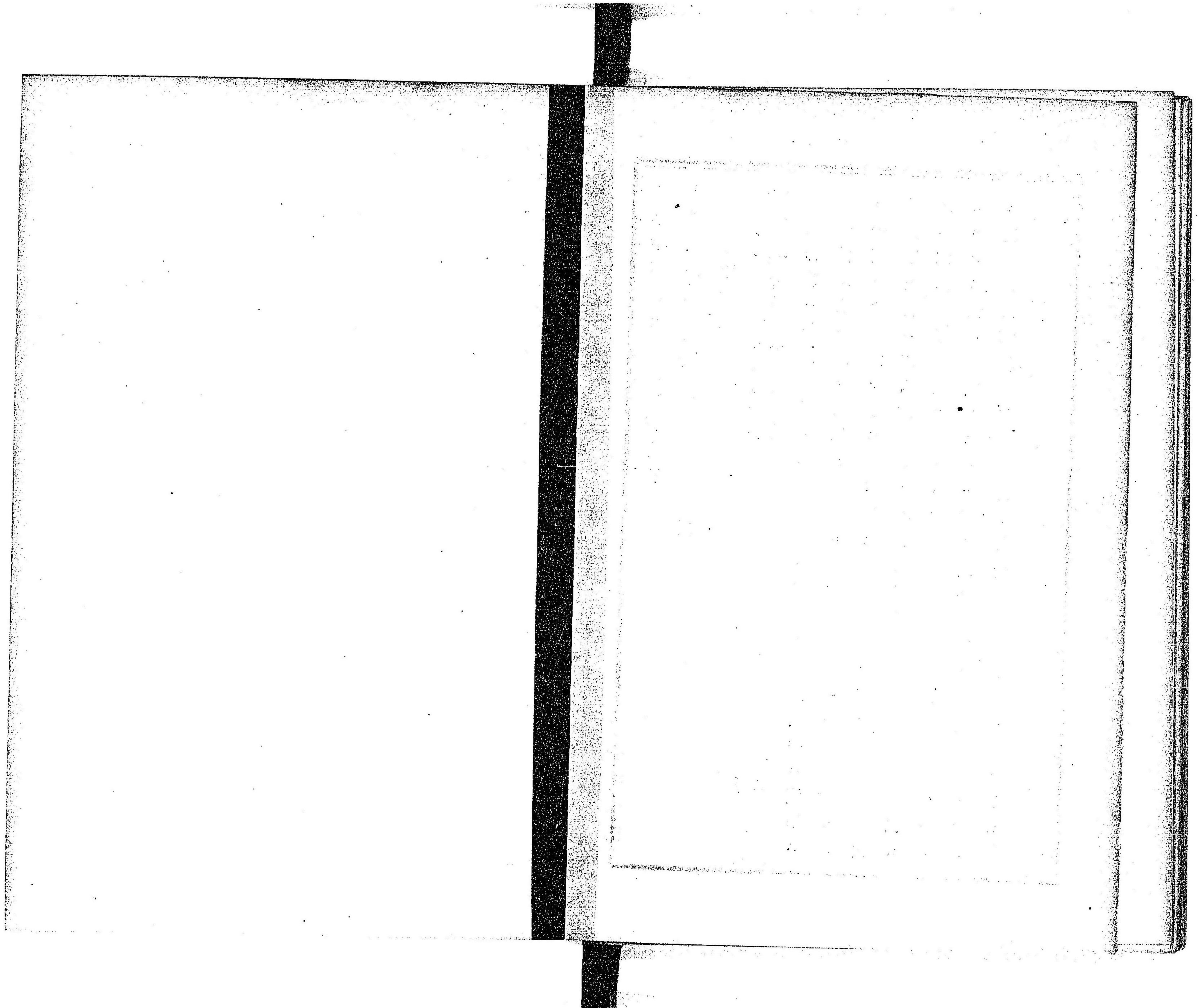
肆

陸軍中將三好重臣朝臣題言
 大坂控訴裁判所在勤松井耕藏閱
 彈 舜平註釋

陸軍刑法註釋

活版洋綴一冊
 定價金九十錢

右註釋書ハ每條本義ヲ解キ類例ヲ掲ケ且該刑法中ニ適用スル普通刑法ハ悉ク併録シテ等シク註釋ヲ加ヘタル要書ナレハ一讀シテ律意ヲ解スルハ恰モ朝日ニ霜ノ解ケルカ如シ尤該刑法ハ啻ニ軍人軍属ノミナラス平民ト雖也該刑法ヲ犯ス時ハ軍律ヲ以テ罰セラレ、ノ法則ナレハ陸軍ニ從事セサル人ニテモ恒ニ熟閱セズンハ誤テ坎井ニ墜ルノ害ナキニアラス因テ軍人軍属ハ勿論朝野ノ紳士ノ購閱アラソトテ希ス



30
114

東 京 圖 書 館

北 洋 郵 政

一	二	三	四	五
冊	号	架	函	類

036305-000-6

30-114

海軍刑法註釈

彈 舜平/著

M15

BBQ-0006

